はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

- 本書の「安全上のご注意」には、安全確保に必要な重要事項が記載されていますので、必ずお読みください。
- 使いはじめるときは、クイックスタートガイドに記載の「セットアップ」、「パソコンとの接続」を行ってください。GENIO eでインターネットやメールを利用するには、本書に記載の「インターネットの接続」、「電子メールの接続設定」を行ってください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
- オプション(別売品)や市販品をご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- 本書に記載している説明用画面は、実際の画面と多少異なる場合があります。

■商標

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Pocket Outlook、Windows、Windows Media、MSN、Hotmail、Windowsロゴ、MSNロゴ、Officeロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、XScaleは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- Macromedia、FlashおよびMacromedia Flashは、Macromedia, Inc.の米国および全世界における商標または登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス社の商標です。
- SDロゴは、商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

■用語

- Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

安全上のご注意

・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた商品を安全にお使いいただくために、重要な事項を記載しています。
・次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること”を示します。

＊ 1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
＊ 2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊ 3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
🛇 禁　止	“🛇”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗ 指　示	“❗”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害(記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信機会の消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害、および通常当社が想定することができない使用方法(含む使用環境)により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置(内部メモリ、メモリカードなど)に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。記録内容の消失に伴う損害を最小限にするために、定期的にバックアップをお取りください。

本体（バッテリを含む）の取扱いについて

⚠警告

航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では電源を切り、使用しない

禁止場所が不明な場合、航空会社や医療機関に確認のうえ、指示に従ってください。誤って使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。

心臓ペースメーカやその他の医療用電気機器をお使いの方は、Bluetooth™ SD カード（別売品）などのご使用にあたって、医師とよく相談する

電波により、心臓ペースメーカや医療用電気機器の動作に、影響を与えることがあります。

指　示

自動車などの運転中、および歩行中は使用しない

交通事故や、けがの原因となります。

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、バッテリスイッチを停止側にする

そのまま使用すると、火災の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店またはお近くの保守サービスへご依頼ください。

ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れない
端子（金属部分）を金属で接続しない

発熱や発火、故障の原因となります。

本体（バッテリを含む）の取扱いについて　つづき

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

バッテリが液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

火の中へ投げ入れたり、加熱したりしない

バッテリが液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

次の場所では使用、充電、保管しない

- **浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所**
- **雨、霧などが直接入り込むような場所**
- **火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所**
- **直射日光が当たる場所**
- **炎天下の閉めきった車内**

バッテリが液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

バッテリから液もれしたときは、液には触れない

液が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに眼科専門の医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁　止

バッテリから液もれしたり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざける

もれた液に引火し、破裂する原因となります。

指　示

分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店またはお近くの保守サービスへご依頼ください。

分解禁止

⚠注意

イヤホン（市販品）またはヘッドホン（市販品）を接続してご使用になるときは、音量を上げすぎたり、長時間使用しない

聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

幼児の手の届く場所には置かない

スタイラスなど、先が尖ったもので、思わぬけがなどの原因となります。

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談する

この商品に使用している材料、表面処理により、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶にふれない

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

近くにコップ、花びんなど、液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データが消えるなどの原因になります。万一本体内部に入った場合は、電源プラグを抜き、バッテリも本体から抜き、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

本製品を持ち運ぶ場合は、ACアダプタを取りはずす

ACアダプタを取り付けたまま持ち運ぶと、コネクタ部分に無理な力が加わり、発火、故障の原因になります。

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて

⚠警告

付属のACアダプタや電源コードを使用する

付属以外のものを使用すると、発煙や発火、故障の原因となります。

電源プラグは、家庭用交流100Vコンセントに接続する

それ以外のコンセントに接続すると、火災、故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

浴室など、水がかかる場所で使用しない

濡れると発火、感電の原因となります。

ACアダプタの近くに、コップなどの液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、発火や感電、故障の原因となります。

充電時のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。

電源プラグの差刃や差刃付近にほこりがついているときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりをふき取る

電源プラグにほこりがたまると絶縁低下により、火災の原因となります。

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて つづき

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損し、発火、感電の原因となります。

分解・改造・修理をしない

火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

⚠注意

長期間ご使用にならないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

発火、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く

コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、発火、感電の原因となります。

電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る

・傷つけない　・加工しない
・ねじらない　・無理に曲げない
・引っ張らない・物を載せない
・加熱しない　・熱器具に近づけない

守らないと、火災、感電の原因となります。
もし、電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電源コードを購入してください。

⚠注意

端子（金属部分）を針金などの金属類で接続しない

発熱し、やけどの原因となります。

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしない

タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電の原因になります。

幼児の手の届く場所には置かない

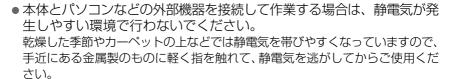
けがなどの原因となります。

ご使用上のお願い

■使用環境や使用方法について

- **次の周囲環境条件の場所でご使用ください。**
  温度 0 ～ 40℃、湿度 30 ～ 80%RH

- **次の場所では使用、保管しないでください。**
  ・極端な高温、低温の場所
  ・ホコリの多い場所
  ・振動の強い場所
  ・電気的ノイズが発生しやすい場所
  ・腐食性の薬品のそば
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

- 本体とパソコンなどの外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。
  乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。

- **雷が鳴っているときは、使用したり、充電したりしないでください。**
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

- **急激な温度変化を与えないでください。**
  結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
  結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

- ACアダプタは、温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。
  あとがつくことがあります。

- 使用中や使用直後は、本体やACアダプタの表面が温かくなっていることがあります。異常ではありませんが、ご注意ください。
  持ち運ぶときは、電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。

- 本体を持ち運ぶときに、カバンなどの中で本体の電源スイッチやボタンが押されないように気をつけてください。
  自然に電源が入ってしまうことがあります。

- 照明について、次のことに気をつけてください。
  ・日光や照明が画面に反射しないように保持してください。
  ・薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
  ・明るい照明や日光が直接眼に入るような場所での使用はさけてください。
  ・なるべく、柔らかい間接照明などを使用してください。
  ・書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

ご使用上のお願い　つづき

● 健康のために、次のことに気をつけてください。
　・長時間画面を見続けないようにしてください。
　・15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見てください。

■故障や破損を防ぐための取り扱いについて

● **GENIO eは精密機器です。タッチスクリーンやスタイラス、筐体の破損、故障を防ぐため、ていねいな取り扱いをお願いします。**

・スタイラスでタッチスクリーンをタップするとき、強く押し付けないでください。

・落としたり、ねじったり、強い衝撃を与えたりしないでください。

・指でタッチスクリーンを押さえ付けないでください。

・上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。

・荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、他の物の下にならないようにしてください。
固い本などに挟み込むのも、かえって破損につながる可能性があります。

・カバンの中で、他の物に押されたり、外部からの衝撃を受けたりしないようにしてください。

・ズボンのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。

ご使用上のお願い　つづき

■お手入れについて

- **お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。**
  色や形が変わる原因となります。
  汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。

- **濡れた布でタッチスクリーンをふかないでください。**
  濡れた手で触れないでください。
  故障、誤動作の原因となります。
  タッチスクリーンの汚れは、やわらかい乾いた布で、軽くふいてください。強く押し付けてふかないでください。

- **端子（金属部分）をときどき乾いた布などで清掃してください。**
  汚れていると接続不良、充電不良の原因となります。

■接続機器や、使用するソフトウェアについて

- ご使用するソフトウェアプログラム（アプリケーションプログラム）によっては、本体に搭載しているプロセッサの処理能力を十分に引き出せないものがあります。
- この本体のOSは、Pocket PC 2003（日本語版）です。GENIO eシリーズには、OSがPocket PC 2002やPocket PCのものもあります。OSの違いによって動作しないソフトウェアプログラム（アプリケーションプログラムやドライバなど）もあります。その場合はソフトウェアプログラムの開発元にお問い合わせください。
- 本体に取り付けているカードに強い衝撃を与えないでください。カードや本体の破損、故障の原因となります。

- 本体にカードを取り付けたまま持ち運びしないでください。カードに物が当たり衝撃が加わるとカードや本体の破損、故障、またはカードが本体からはずれて紛失するおそれがあります。

- 他社製の接続機器につきましては、当社で動作を保証するものではありません。
  他社製の接続機器の動作確認状況につきましては、各社にお問い合わせください。

■通信データの保護について

- 通信カードなどを利用して、データを送受信する場合、電波を使用するため、第三者に送受信データを傍受される可能性があります。留意してご利用ください。データを暗号化すれば、データの機密性・保護性が高まります。データを暗号化して送受信することをお勧めします。送受信データが傍受され、それにより生じた損害について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■記憶データについて

- メモリカードへ書き込み・読み出し中は、電源を切ったり、メモリカードを取り出したりしないでください。メモリカード、本体、記憶データが、破壊されるおそれがあります。
- **重要な本体内の記憶データは、定期的にメモを取ったり、メモリカード（オプション・別売品）やパソコン（ActiveSyncでデータ転送する）に保存して、控えをとっておいてください（参照 40、78ページ）。**
  次のようなときに記憶データが消えるおそれがあります。
  ・バッテリスイッチを停止側にしたとき
  ・バッテリの充電残量がなくなった（放電しきった）とき
  ・誤った使いかたをしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・故障したり、修理に出したとき
- 本体の故障や修理において、またはバッテリが放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

■バッテリについて

- バッテリは、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、バッテリが放電しきる場合があります。定期的にバッテリの充電残量をチェックして、充電を行ってください（参照 8ページ）。
- 本体のバッテリは、リチウムイオン充電池を使用しています。
バッテリの交換は、お買い上げの販売店または東芝PC集中修理センタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
- 使用済みのリチウムイオン充電池は貴重な資源です。法律に基づいてリサイクルしますので廃棄しないでください。不要になった本体の回収に関しては、GENIO eホームページでご覧いただくか、東芝PCダイヤルにご連絡ください。

Li-ion

GENIO eホームページ

URL http://genio-e.com/

東芝PCダイヤル

電話番号　0570-00-3100

受付時間　9:00～19:00（年中無休）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780 で受け付けております。

ご使用上のお願い つづき

■廃棄について

● GENIO e本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体にお問い合せください。
（本製品の、プリント基板の製造で使用するはんだには鉛が含まれています）

【企業で GENIO e をご使用のお客様へ】

本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先
東芝パソコンリサイクルセンター
〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町 20-1 株式会社テルム内
電話番号：045-510-0255
受付時間：9:00 ～ 17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX：045-506-7983（受付時間：24 時間）

ご使用上のお願い つづき

■用途制限について

- 本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではありませんので、それらの用途に使用しないでください。
- 本製品を、人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響をおよぼす装置等を含むシステム（*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（*3）が必要ですので、当社窓口にご相談してください。配慮せずに据え付けをすると重大な事故を起こす原因となります。

＊１ 人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものをさします。
・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
・消防法､建築基準法などの各種法令を遵守して設置しなければならない装置など

＊２ 人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響をおよぼす装置等を含むシステムとは、以下のものをさします。
・原子力発電所の主制御システム
・原子力施設の安全保護系システム
・その他安全上重要な系統およびシステム

＊３ 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することをさします。

■輸出規制

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社窓口にお問い合わせください。
なお、この機器に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

■電波障害自主規制

この機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この機器は家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

■著作権

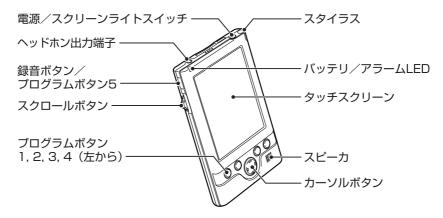
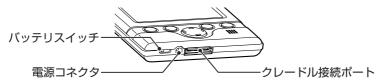
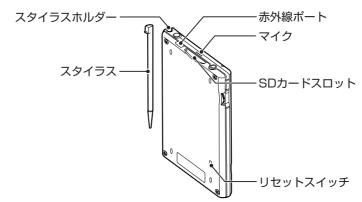
音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

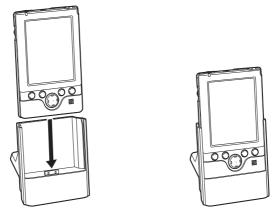
もくじ

第1章
ご利用いただく前に

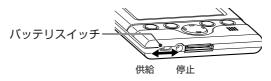
1. 各部のなまえと機能

本体

■前面・左側面

■底面

■背面

クレードル

■本体とクレードルの接続のしかた

● 奥までしっかり差し込んでください。

バッテリスイッチ

バッテリスイッチで、バッテリからの電源を供給／停止します。
工場出荷時は「停止」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、スタイラスのペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。

お願い

● バッテリスイッチを「停止」にすると、本体が初期化され、お客様が登録したデータなどが消え、工場出荷時状態に戻ります（参照 184 ページ）。

電源／スクリーンライトスイッチ

電源の ON ／ OFF とスクリーンライトの ON ／ OFF を行います。

電源／スクリーンライトスイッチ	電源OFFのとき	電源ONのとき
長く押す	電源がONする	スクリーンライトがON／OFFする
短く押す	電源がONする	電源がOFFする

バッテリ／アラーム LED

本体の状態をお知らせします。

● オレンジ色の点滅 ‥‥「予定表」や「仕事」で設定したアラーム時刻になると点滅します（「仕事」のアラーム時刻は、期日の午前８時です）。
● オレンジ色の点灯 ‥‥ バッテリの充電中です。
● 黄色の点滅 ‥‥‥‥‥ 周囲温度が低すぎる、または高すぎるため、バッテリの充電を一時停止している状態です。周囲温度が約５～35℃の環境で充電を行ってください。
● 緑色の点灯 ‥‥‥‥‥ バッテリの充電が完了しました。

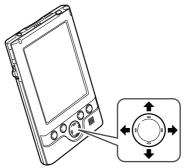
プログラムボタン

電源がOFFのときでも、プログラムボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているプログラムが起動します。
初期状態では、次のプログラムに設定されています。

お知らせ

- プログラムボタンを押してもプログラムが起動しない（電源が入らない）ように、設定できます（参照 60 ページ）。
- プログラムボタンの割り当て設定を変更できます（参照 57 ページ）。

カーソルボタン

カーソルボタンの各方向部を押すことによって、画面上のカーソル(選択表示)を移動できます。

カーソルボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。方向によってはカーソルが移動しない場合があります。

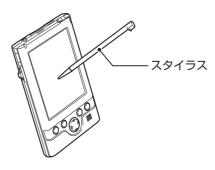
スクロールボタン

スクロールボタンを2方向に動かすことによって、画面上のカーソル（選択表示）を移動できます。
また、スクロールボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。

スタイラスの使いかた

スタイラスは本体のタッチスクリーン上で、メニューの選択やデータを入力するときに使用します。

スタイラスは次のような使いかたをします。

- タップ……………… タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- タップアンドホールド… タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると赤の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- ドラッグ……………… タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

お願い

- 本体のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラスをご使用ください。
- スタイラスの先が破損した場合は、ご使用にならないでください。先が破損したスタイラスや、ボールペンの先でタッチスクリーンの操作をすると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- スタイラスは消耗品です。破損したら新しいスタイラスをお買い求めください。
- タッチスクリーンの傷つきを防止するために、市販の画面保護シートを取り付けて、タッチスクリーンの操作をすることをおすすめします。

2. バッテリの充電

バッテリは、本体に内蔵されています。初めて使うときは、バッテリスイッチを「供給」にしてから（参照 4ページ）、ACアダプタを使って、必ず満充電になるまで充電を行ってください。

充電のしかた

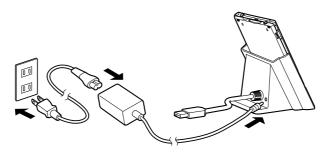
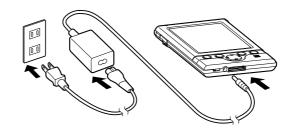
接続には２つの方法があります。

お願い

- 本体とACアダプタを接続するときは、本体の電源をOFFにしてから行ってください。

お知らせ

- 充電は、周囲温度が約５～35℃の環境で行ってください。周囲温度が低すぎても、高すぎても充電を一時停止します。動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。バッテリ／アラームLEDの黄色の点滅は、充電の一時停止を示します。
- 充電中は、バッテリ／アラーム LED がオレンジ色に点灯します。
- 満充電になると、バッテリ／アラーム LED が緑色に点灯します。
- 本体電源がOFFの状態で充電を行った場合、バッテリの充電残量0から満充電になるまでに、約４時間かかります。充電時間は周囲温度などによって変わります。

■付属の AC アダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込む

■付属の AC アダプタと本体を図のように接続する

バッテリの使用時間を長持ちさせるには

● AC アダプタを接続して、本体を使用する。
特に次のような動作をするときは電力の消費が大きいので、ACアダプタを使用してください。
・本体とパソコンを接続して動作するとき
・本体にメモリカードや､その他のオプション機器を接続して動作するとき
● 本体の操作を行わないと自動的に電源が OFF するまでの時間を短く設定する（参照 60 ページ）。
● スクリーンライトを OFF にする（参照 4 ページ）。
● スクリーンライトの明るさレベルを「やや暗い」側にする。また未使用時間に応じて消灯するまでの時間を短くする（参照 61 ページ）。
● Windows Media Player 再生中は、画面表示を消す(参照 152 ページ)。
● バッテリの性能が最も発揮できる、周囲温度15～25℃の環境で使用する。
・高温／低温の場所では､バッテリの充電容量が低下して、使用できる時間が短くなります。

バッテリの寿命

バッテリには寿命があります。充電･放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。極端に使用時間が短くなってきたら交換時期です。新しいバッテリへの交換を､お買い上げの販売店または東芝PC集中修理センタへご依頼ください。なおバッテリの寿命は使用状態などによっても変わります。
● 本体を、炎天下の閉め切った車の中や冬の屋外など、高温･低温の場所に放置しないでください。バッテリの寿命が短くなります。

充電残量と記憶データの保護

バッテリの充電残量がなくなる（放電しきる）と本体の電源が入らなくなります。そしてそのまま放置すると本体内に記憶したデータが消えてしまいます。

バッテリの充電残量が少なくなったことを示す、警告メッセージやステータスアイコン（参照 21 ページ）が表示されたら、ただちに充電を行ってください

● ステータスアイコン
　............バッテリの充電残量がわずかになっています。

お知らせ

● バッテリは、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、バッテリが放電しきることがあります。
● 本体内の記憶データは、定期的にメモリカードやパソコンに保存しておいてください（参照 44、78 ページ）。
● バッテリが放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

3. 初期セットアップ

初めて電源を入れたときや、本体を初期化したときは、「Pocket PC」の画面が表示されます。画面の説明に従って初期セットアップを行ってください。

1 「Pocket PC」の画面をタップする

2 「タッチスクリーンの補正」を行う

- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。５回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。

3 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、「次へ」をタップしてください。

4 ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明に従って、「ポップアップメニュー」を開く操作と「切り取り」、「貼り付け」を行います。
- 「貼り付け」をしたら練習は終了です。「次へ」をタップしてください。

5 場所を設定する

- 通常はそのまま「次へ」をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。必要に応じて本製品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。

6 初期セットアップ画面を閉じる

- 「完了」の画面をタップするとセットアップが終了し、「Today」画面が表示されます。
- ご使用になる前に、現在地の日時を設定してください（参照 59ページ）。

お知らせ

- 「Today」画面については（参照 20ページ）をご覧ください。

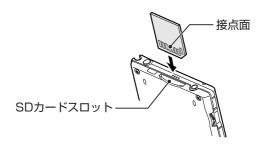
4. 外部機器の接続

SD カードスロットにカードをセットする

■カードのセット

1 本体の電源を OFF にする

2 ダミーカードがある場合は取り出す

3 カードの接点面（金属の部分）を本体背面側に向けて、カチッと音がするまで差し込む

■カードの取り出しかた

1 本体の電源を OFF にする

2 カードを指で軽く、カチッと音がするまで押し込み、指を離す①

3 カードが少し飛び出してきたら、ゆっくり引き抜く②

お願い

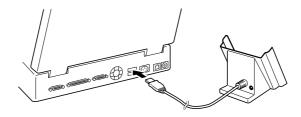
- 本体へのホコリやゴミの侵入を防止するため、長時間使用しないときは、ダミーカードをスロットに挿入することをおすすめします。

パソコンとの接続

付属のクレードルを使って、本体とパソコンを接続できます。本体とパソコンを接続して、データの同期や受け渡しを行うには、「パソコンと接続して同期をとる」（参照 40 ページ）をご覧ください。

- 本体の電源が OFF の状態で接続してください。
- パソコン側の接続ポートの位置などが、パソコンによって異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

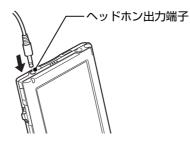
クレードルを使って接続する

クレードル（付属品）を、パソコンの USB ポートに接続します。

お願い

- 静電気が発生しやすい場所や、電気的ノイズが大きい場所での使用時には、ご注意ください。
  外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障や、静電気・電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

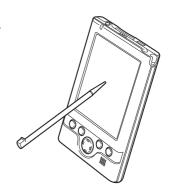
ヘッドホンの接続

ヘッドホン（市販品）を本体に接続して、本体の出力音声を聞くことができます。このとき、スピーカからの音声出力は止まります。
図のようにヘッドホン出力端子に接続してください。

お願い

- 接続できるヘッドホンは、φ 3.5mm ミニプラグのタイプです。
- 次のような場合にはヘッドホンを着用しないでください。大きな雑音が発生する場合があります。
  - ・本体の電源を入れる／切るとき
  - ・ヘッドホンを本体に取り付け／取りはずしするとき
- 音量を小さくしておいてからヘッドホンを着用してください。着用後、適切な音量に調整してください。

第2章
基本操作と環境設定

使用環境設定をお好みに設定したり、パソコンやメモリカードを利用して、本体をより便利に使うことができます。

「Today」画面、「ホーム」画面、プログラムボタンなどをお好みに設定できます。

パソコンと接続して、作成したデータの同期ができます。

SDメモリカードなどを使って、データのバックアップができます。

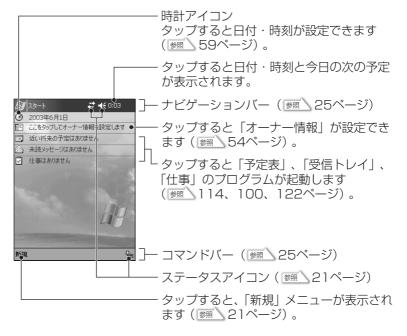
お願い

- 重要な本体の内の記憶データは、消失してしまったときの損害を最小限にするために、定期的にバックアップしておいてください。

1. 基本的な使いかた

「Today」画面の見かた

「Today」画面について

本体の電源を入れると、「Today」画面が表示されます。また、「スタート」メニューから「Today」をタップしても表示されます。「Today」画面には、その日の予定、未読メッセージ、仕事が表示されます。

お知らせ

- 背景画像など、「Today」画面の表示内容を設定できます。設定については（参照 53 ページ）をご覧ください。
- 「ホーム」画面からでも、その日の予定、未読メッセージ、仕事を見たり、いろいろなプログラムを起動できます。「ホーム」画面については、（参照 67 ページ）をご覧ください。

「新規」メニューについて

「Today」画面左下の「新規」をタップすると「新規」メニューが表示されます。
メニューに表示するプログラムは変えられます（参照 58 ページ）。
各メニューをタップすると、それぞれの新規入力画面が表示されます。

ステータスアイコンについて

本体の動作状況によって、画面上のナビゲーションバーや画面下のコマンドバーに次のステータスアイコンが表示されます。「Today」画面以外でも表示されます。

.... スピーカの出力(画面のタップ音やアラーム音など)が、オンになっています。アイコンをタップすると音量調整とスピーカ出力のオン、オフが設定できます。

.... スピーカの出力がオフになっています。

.... バッテリを充電しています（付属のACアダプタを接続しているときナビゲーションパネルの時刻をタップするとポップアップ画面に表示されます）。

.... バッテリがフルに充電されています（付属のACアダプタを接続していないときナビゲーションバーの時刻をタップするとポップアップ画面に表示されます）。

.... バッテリの充電残量が少なくなってきました。

.... バッテリの充電残量がわずかになっています。

.... 通信接続アイコン
インターネットまたはパソコンに接続されていません。アイコンをタップすると、インターネットの接続設定ができます。

.... 通信接続アイコン
インターネットまたはパソコンに接続中です。アイコンをタップすると、インターネットの接続設定ができます。

………… ActiveSyncでパソコンと同期中です。

………… パソコンに接続中です。

………… 新着のMSNインスタントメッセージがあります。

………… 新着メールがあります。

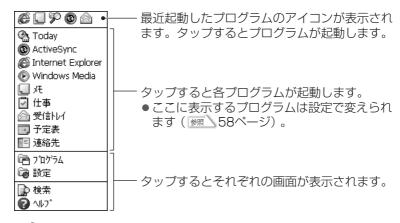
お願い

- 通知アイコン が表示された場合は、このアイコンをタップして、通知内容を確認してください。
- 「メインバッテリ残量警告」のメッセージ（参照 182ページ）が表示されたら、すみやかにバッテリを充電してください。

プログラムの起動と切り替え

「スタート」メニューから起動する

1 画面左上の「スタート」をタップする

- 「スタート」メニューが表示され、その中から各プログラムを選択して起動します。すでにそのプログラムが起動しているときは、そのプログラムに切り替わります。

お知らせ

- 「ホーム」を使ってプログラムを起動させることもできます（参照 67ページ）。
- プログラムボタンを押しても、それに割り当てられているプログラムを起動させることができます（参照 5ページ）。

「スタート」メニューに表示されていないプログラムを起動する

1 「スタート」の「プログラム」をタップする

● 「プログラム」の画面が表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。

タップすると、この画面が消えます。

プログラムの追加と削除

本体に、Pocket PC 用のプログラムを追加インストールして、利用することができます。

プログラムのインストール

プログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンに Microsoft® ActiveSync® （参照 41 ページ）をインストールし、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。また、インストールに必要な空きディスク容量とメモリが確保されているか確認してください（参照 63ページ）。

インストールの方法は、プログラム（CD-ROM やインターネット等のダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■インストールの操作例

1 プログラムの入ったCD-ROMやFDをパソコンのドライブに挿入する（または、インストールしたいプログラムをインターネット等からダウンロードする）

2 本体をパソコンに接続する

3 パソコンでCD-ROMやFD内またはダウンロードしたファイル内の（＊.exe）ファイルをダブルクリックする

4 画面の指示に従って操作をする

- プログラムがパソコンにインストールされ、インストーラによって自動的にプログラムが本体に転送されます。
- ファイルがインストーラを備えていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合はファイルを本体に移動する操作が必要です。パソコンのエクスプローラを使って、ファイルを本体の「Program Files」フォルダにコピーしてください。エクスプローラで本体のフォルダ一覧が表示できます。「本体とパソコンの間で、ファイルを移動する」（参照 44 ページ）をご覧ください。

プログラムを削除する

削除の方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■削除の操作例

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プログラムの削除」をタップする

2 プログラムリストから削除するプログラムを選択し、「削除」をタップする

「削除してもよろしいですか？」という画面が表示されます。

- プログラムリストに削除するプログラムが表示されないときは、ファイルエクスプローラ（参照 46 ページ）を使用して探してください。見つかったらプログラムをタップアンドホールドし、ポップアップメニューを表示させ、「削除」をタップしてください。

3 「はい」をタップする

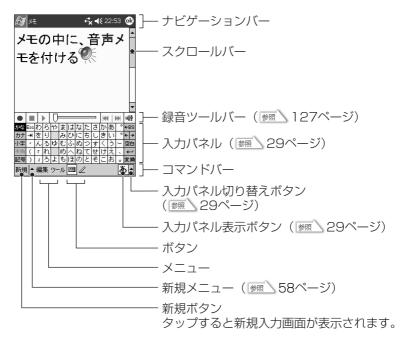
プログラムが削除されます。

お知らせ

- 本体にあらかじめインストールされていたプログラムは、削除できません。

プログラムの基本操作

プログラムの画面構成について

「メモ」の入力画面を使って、主な画面構成の説明をします。

■ナビゲーションバーについて

画面の最上段にあり、プログラムの切り替え（「スタート」メニュー）、現在使用中のプログラム名の表示、インターネットへの接続設定、スピーカの音量調整、時刻の表示、画面の終了（ok ボタン）ができます。

■コマンドバーについて

画面の最下段にあり、現在使用中のプログラムのメニューとボタン、および入力パネルボタン（表示／切り替え）などが表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションバーの ⊗ ボタンをタップすると、そのプログラム画面が消えますが、このとき、プログラムは終了していません。
- プログラムを終了するには、「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップし、「実行中のプログラム」タブで、終了したいプログラム名を選び、「終了」をタップしてください（参照 64ページ）。「ホーム」を使って、プログラムを終了させることもできます（参照 68ページ）。
- 電源をOFFにしてもプログラムは終了しません。

ポップアップメニューについて

画面上に表示されている項目などをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されます。

オンラインヘルプの使いかた

1 「スタート」の「ヘルプ」をタップする

そのとき表示していた画面に応じた「ヘルプ」の画面が表示されます。

- 「Today」画面を表示していたときは、「ヘルプの目次」の画面が表示されます。
- プログラムを開いていたときは、そのプログラムのヘルプが表示されます。

2 見たい項目をタップする

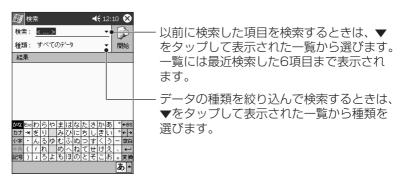
（例：「メモ」を開いていた場合）

検索のしかた

1 「スタート」の「検索」をタップする

「検索」の画面が表示されます。

2 「検索」欄に検索したい語句を入力する

文字の入力のしかたは、「文字入力のしかた」（参照 29ページ）をご覧ください。

3 「開始」をタップする

検索データの種類に応じて、My Documentsフォルダ（サブフォルダを含む）などが検索され、検索結果が「結果」欄に表示されます。

- 再度検索する場合は、「検索」欄をタップして、検索語句を入力します。

2. 文字入力のしかた

文字入力の概要について

「文字入力モード」は、入力パネルを使って文字を入力します。入力パネルは、以下の４つのタイプがあります。

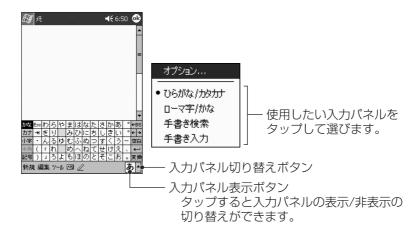
● キーボードタイプ入力パネル

「ひらがな／カタカナ」　　「ローマ字／かな」

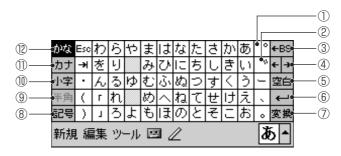
● 手書きタイプ入力パネル

「手書き検索」

入力パネルの切り替えについて

画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、使用したい入力パネルを選択すると、画面下部に入力パネルが表示されます。

キーボードタイプの入力パネル

「ひらがな／カタカナ」キーボード

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。

① ゜ ....「ぱ」行を入力するときには、「は」行のキーをタップしてから゜をタップします。

② ゛ ....「が」、「ざ」、「だ」、「ば」行を入力するときには、「か」、「さ」、「た」、「は」行のキーをタップしてから ゛を タップします。

③ ←BS ....カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

④ ←→ ....カーソルを前後に移動します。

⑤ 空白 ....空白を入力します。

⑥ ↵ ....「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑦ 変換 ....ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑧ 記号 ....「記号」キーボードに切り替わります（参照 32ページ）。

⑨ 半角 ....タップして反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう１度タップすると解除します。

⑩ 小字 ....タップして反転させると、「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などの文字が小文字入力になります。小文字入力は、1文字入力すると解除されます。

⑪ カナ ....「カタカナ」キーボードに切り替わります。

⑫ かな ....「ひらがな」キーボードに切り替わります。

「ローマ字／かな」キーボード

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。

① ←BS ……………カーソルの前にある文字を、タップするごとに１文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

② ←→ ……………カーソルを前後に移動します。

③ ↵ ……………「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

④ 変換 ……………ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑤ ［　　］…………「スペース」キーです。空白を入力します。

⑥ 記号 ……………「記号」キーボードに切り替わります（参照 32 ページ）。

⑦ 半角 ……………タップして反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう１度タップすると解除します。

⑧ 英数 ……………英数字入力します。

⑨ カナ ……………ローマ字入力で、カタカナを入力します。

⑩ かな ……………ローマ字入力で、ひらがなを入力します。

⑪ Esc ……………「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。

⑫ ⇥ ……………「タブ」キーです。タブを入力します。

⑬ Cap ……………「キャプスロック」キーです。英数字入力のときに、タップして反転させると大文字入力ができます。もう１度タップすると解除します。

⑭ ⇧ ……………「シフト」キーです。タップして反転させると、大文字および記号（！“＃＄％＆‘（　）＿＝…など）の入力ができます。1文字入力すると、シフトキーが解除されて元に戻ります。

⑮ Ctl ……………「コントロール」キーです。英数字と組み合わせて機能を実行します。

■「記号」キーボード

「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」キーボード左下の「記号」をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。

①～⑤ .... 各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」キーボードの③④⑤⑥⑦キーと同じです。

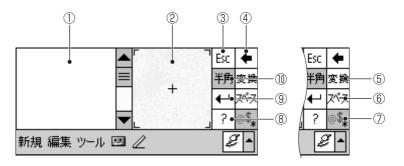
⑥ 半角 .... 反転した状態のとき、半角入力ができます。タップすると解除します。

⑦ 英数 .... 「ローマ字／かな」キーボードに切り替わります。

⑧ カナ .... 「カタカナ」入力モードに戻ります。

⑨ かな .... 「ひらがな」入力モードに戻ります。

手書きタイプの入力パネル

「手書き検索」入力パネル

①（認識候補一覧）...... ②で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。

②（手書き入力欄）...... 手書き入力します。

③ Esc .... 「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。

④ ← .... ②で手書き中に ← をタップすると、最後の１画が消去されます。文字列では、カーソルの前にある文字を１文字ずつ削除します。また、変換中にタップすると、変換を解除します。

⑤ 変換 .... ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。

⑥ スペース .... 文字列にスペースを挿入します。

⑦ @$* .... 「記号」キーボードに切り替わります（参照 35ページ）。

⑧ ? .... タップすると、キーのヘルプ画面が表示されます。

⑨ ↵ .... 「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑩ 半角 .... タップして反転させると、カタカナ、英数字などの半角入力ができます。もう１度タップすると解除します。

お知らせ

- 入力手順は、（参照 37ページ）をご覧ください。

「手書き入力」入力パネル

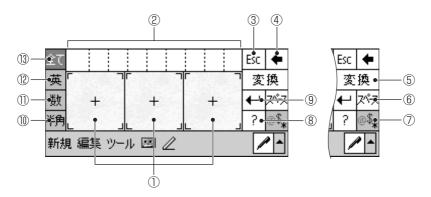
①（手書き入力欄）............ ３つの欄に手書きした文字が、順に認識され、連続的に入力できます。

②（認識候補一覧）............ ①で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。文字を選択しないで①に入力を続けていくと、②に一覧表示される一番左側の文字候補が自動的に選択されます。

③〜⑩ .... 各キーのはたらきは、「手書き検索」入力パネルと同じです。

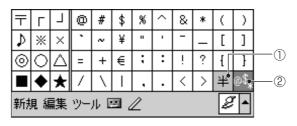
⑪ 数 .... 認識候補を、数字および記号とします。

⑫ 英 .... 認識候補を、英字および記号とします。

⑬ 全て .... 認識候補を、すべての文字とします。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 38 ページ）をご覧ください。

■「記号」キーボード

「手書き検索」入力パネルまたは「手書き入力」入力パネル右下の [@$*] をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。どれか記号をタップして選択すると、元の入力パネルに戻ります。

① [半] ………………………… タップして反転させると、半角入力ができます。もう1度タップすると解除します。記号によっては、全角でしか入力できないものがあります。

② [@$*] ………………………… 「手書き検索」入力パネルまたは「手書き入力」入力パネルに切り替わります。

文字入力する

ここでは、Pocket Word を使って文字入力のしかたを説明します。
Pocket Word の新規文書を開くには、「Today」画面のコマンドバーの「新規」から、「Word 文書」をタップします。

- 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップしても開けます。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルを使って入力する

（例）「かんじ」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ひらがな／カタカナ」入力パネルを選択する

「ひらがな／カタカナ」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「かんじ」と入力する

画面に「かんじ」と入力されます。

3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう１度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵ をタップする

反転が解除されて、確定します。

「ローマ字／かな」入力パネルを使って入力する

（例）「kanji」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ローマ字／かな」入力パネルを選択する

「ローマ字／かな」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「kanji」と入力する

画面に「かんじ」と表示されます。

3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

● 変換が違うときはもう1度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ［↵］をタップする

反転が解除されて、確定します。

「手書き検索」入力パネルを使って入力する

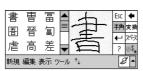
（例）「書」と手書きして変換してみます。

1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き検索」入力パネルを選択する

「手書き検索」入力パネルが表示されます。

2 手書き入力欄に「書」と手書き入力する

左側に認識候補一覧が表示されます。

● 一覧から「書」を選択すると、画面上部に「書」が表示されます。

3 ［↵］をタップする

「書」が確定されます。

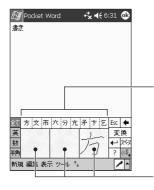
「手書き入力」入力パネルを使って入力する

（例）「書き方」と手書き入力して変換してみます。

1　入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き入力」入力パネルを選択する

「手書き入力」入力パネルが表示されます。

2　３つの手書き入力欄に「書」、「き」、「方」と手書き入力する

自動的にテキスト変換して、「書き方」と表示されます。

文字を入力した直後に、ここに表示された候補の中から入力したい文字を選択できます。

入力順序はどこからでもかまいません。
先に入力した文字から変換します。

3　[↵] をタップする

「書き方」が確定されます。

文字の編集について（追加、削除、変更、コピー、移動）

文字を追加するには

1　文字を追加したい位置をタップする

カーソルが点滅表示されます。

2　追加したい文字を入力する

カーソル位置に入力文字が追加されます。

お知らせ

- 「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」入力パネルの [←→] キーをタップしてもカーソルの位置を移動できます。
- カーソルボタンでもカーソルの位置を移動できます。
- 改行するには、改行したい位置にカーソルを合わせ、[↵] キーをタップします。

文字を削除するには

1 **削除したい文字の直後をタップする**

カーソルが点滅表示されます。

2 **カーソルの位置を確認して [←BS] をタップする**

「手書き検索」または「手書き入力」パネルのときは [←] をタップします。
カーソルの位置から前へ順に削除されます。

- 削除したい範囲をドラッグして、[←BS]（[←]）または「編集」→「クリア」をタップすると、複数の文字を一度に削除できます。

文字を変更するには

1 **変更したい範囲をドラッグして、新しい文字を入力する**

文字をコピーするには

1 **コピーしたい範囲をドラッグして、「編集」→「コピー」をタップする**

2 **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**

3 **「編集」→「貼り付け」をタップする**

文字を移動するには

1 **移動したい範囲をドラッグして、「編集」→「切り取り」をタップする**

2 **貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる**

3 **「編集」→「貼り付け」をタップする**

文字を編集前に戻すには

直前の編集操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

1 **「編集」→「元に戻す」をタップする**

お知らせ

- 「元に戻す」の操作をした直後、「編集」→「やり直し」をタップすると、元に戻した操作をやり直すことができます。

3. パソコンと接続して同期をとる

本体とパソコンを接続すると、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行えます。
本体をパソコンに接続するためには、パソコンにActiveSync® 3.7をインストールする必要があります。また、「連絡先」、「予定表」、「仕事」、「受信トレイ」の同期には、Outlook®（Outlook® 2002を推奨）をインストールする必要があります。

パソコンの必要条件について

ActiveSync® 3.7は、Outlook® 98、Outlook® 2000、Outlook® 2002に対応しています（Outlook® 2002を推奨）。

- 本体のOSのPocket PC 2003では、ActiveSync® 3.1、3.5日本語版は、サポート対象外になります。

ActiveSync® 3.7の動作環境は、次のとおりです。

■オペレーティングシステム、接続ポート

オペレーティングシステム（下記の日本語版）	接続ポート	
Windows® 98	USBポート	赤外線通信ポート
Windows® 2000		
Windows® Me		
Windows® XP		

- Windows® 95は、ActiveSync® 3.7の対象OSではありません。

■各オプション、その他

インストールソフト	Microsoft® Internet Explorer 5.0 以降のバージョン
必要な空きハードディスク容量とメモリ	Internet Explorer 5.0 の場合 56 ～ 98MB ActiveSync® 3.7 の場合 12 ～ 65MB
	Outlook® 2002 標準インストールの場合　230MB 以上 （メモリは 64MB 以上を推奨）
各オプション	オーディオカード／スピーカ
	Microsoft® Office97、またはMicrosoft® Office2000、または Microsoft® OfficeXP
	リモート同期用モデム
	リモート同期用イーサネット LAN 接続
その他	CD-ROM ドライブ
	256 色以上の VGA グラフィックスカード、または 互換のあるビデオグラフィックスアダプタ
	キーボード
	Microsoft マウス、または互換性のあるポインティングデバイス

ActiveSync3.7 について

本体（Pocket PC）とパソコンの間で、データ交換をするためのパソコン用のプログラムです。本体には、Pocket PC 用の ActiveSync がすでにインストールされています。
ActiveSync3.7を使用して本体とパソコンの間で、以下のようなことが行えます。

- 「連絡先」、「予定表」、「仕事」の同期
- 「受信トレイ」内のメールの同期
- ファイルのコピーまたは移動
- 選択したファイルの同期
- 本体へのアプリケーションの追加と削除
- 本体のデータのバックアップと復元

お知らせ

- ActiveSync3.7 は付属のコンパニオン CD に収録されています。
- ActiveSync3.7の詳細については、ActiveSync3.7をパソコンにインストールしてから、ActiveSync3.7 のヘルプをご覧ください。
- クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧になり、その順番で ActiveSync3.7 をインストールしてください。

初めてパソコンと接続して同期をとる

初めてパソコンと接続して同期をとるときは、次の手順で接続します。
詳しくは、クイックスタートガイドをご覧になり、接続してください。

1 コンパニオン CD をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する

コンパニオン CD については（参照 163 ページ）をご覧ください。

2 パソコンに Microsoft Outlook 2002 をインストールする

3 パソコンに ActiveSync3.7 をインストールする

4 クレードルを直接パソコンの USB ポートに接続する

● このときはクレードルに本体を差し込まないでください。

5 本体を電源 OFF の状態で、クレードルに接続する

● 奥までしっかり差し込んでください。

本体の電源が ON になり、本体とパソコンの接続が確立されます。
● 本体はパソコンから「モバイルデバイス」として認識されます。

6 「ハードウェア検出ウィザード」または「ハードウェア追加ウィザード」が表示された場合は、画面の指示に従って、コンパニオンCDからデバイスドライバのインストールを行う

本体の電源がOFFになった場合は、本体をクレードルから取りはずしてもう１度差し込んでください。

7 パートナーシップの設定をする

本体とパソコンの同期の設定をします。

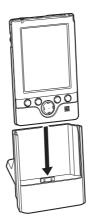
8 「セットアップ完了」の画面で「完了」をクリックする

本体とパソコンの同期を開始します。

■本体をパソコンから取りはずす

本体の電源をOFFにして、本体をクレードルから取りはずします。

再びパソコンと接続して同期をとる

本体を電源OFFの状態で、クレードルに接続します。本体とパソコンが接続し、同期を開始します。

● 奥までしっかり差し込んでください。

● 本体が動作しているとき、クレードルから本体を着脱しないでください。故障、誤動作、データ消失の原因となります。

同期の設定を変更する

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」→「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで同期したい情報の種類にチェックを付けます。

お知らせ

- 「設定」をクリックすると、その情報の同期の条件などについて詳しく設定できます。
- 「ファイル」にチェックを付けると選択したファイルを同期できます。
- 詳しくはパソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

本体とパソコンの間で、ファイルを移動する

パソコンのエクスプローラで「モバイル デバイス」の「My Pocket PC」をクリックします。
本体のフォルダー一覧が表示されるので、ファイルの移動などができます。

本体のデータをパソコンへバックアップする

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」→「バックアップ/復元」をクリックし、「バックアップ」をクリックします。

- 詳しくは、パソコン上の ActiveSync のヘルプをご覧ください。

赤外線を使ってパソコンと接続して同期をとる

クレードルやケーブルを使わずに、赤外線を使ってパソコンに接続できます。

1 パソコンの赤外線接続を設定する

- お使いのパソコンの赤外線ポートを設定します。お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

2 本体を接続しない状態で、パソコンの ActiveSync を起動する

3 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする

4 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける

5 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート（IR）」を選択する

- 「赤外線ポート（IR）」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。再度パソコンの赤外線設定をご確認ください。

6 「OK」ボタンをクリックする

7 本体とパソコンの赤外線ポートの位置を合わせる

- ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

8 本体の「スタート」の「ActiveSync」をタップし、「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

- 本体からパソコンに赤外線接続を開始します。

お知らせ

- 赤外線を使用したActiveSyncの接続の詳細については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

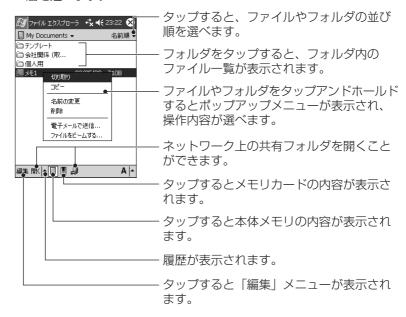
4. ファイルの管理

ファイルエクスプローラを使うと、本体メモリや挿入したメモリカードのファイルやフォルダの一覧が表示でき、新規フォルダを作成したり、ファイルやフォルダを移動するなど、ファイルの操作ができます。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、My Documentsのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

- 「My Documents ▼」をタップすると、現在表示中の階層より上の階層を選べます。

- ファイルをタップすると、そのアプリケーションが起動してファイルを開きます。

新規フォルダを作成する

1 フォルダを作成したい階層を表示する

- 別の階層にフォルダを作成するには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

2 「編集」→「新しいフォルダ」をタップする

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

3 フォルダ名を入力して ↵ をタップする

ファイルやフォルダをコピーする

1 コピーしたいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「コピー」をタップする

3 コピー先にしたい階層を表示する

- 別の階層にコピーするには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

4 「編集」→「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層にコピーされます。

- ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

- 「コピー」元と同じ階層に「貼り付け」をすると、ファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されて、同じ階層にコピーされます。

ファイルやフォルダを移動する

1 移動したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする

3 移動先にしたい階層を表示する

4 「編集」→「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層に移動されます。
- ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて移動されます。
- 「切り取り」したファイルやフォルダを貼り付けず、他のファイルやフォルダを「切り取り」すると、前の「切り取り」は、解除されます。

ファイルやフォルダを削除する

1 削除したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

削除を確認する画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

お願い
- フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて削除されます。
- ファイルやフォルダの削除を実行すると、削除の取り消しはできませんので、ご注意ください。

ファイル名やフォルダ名を変更する

1 **名前を変更したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする**

名前の入力状態になります。

3 **新しい名前を入力して[↵]をタップする**

ファイルを電子メールで送信する

1 **電子メールで送信したいファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「電子メールで送信」をタップする**

受信トレイが起動し、選んだファイルが添付された送信メッセージの新規作成画面が表示されます。

- 受信トレイを使って送信するには、第３章の「メールを送受信する」（参照 100 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 電子メールを利用するときは、あらかじめメールの設定が必要です。詳しくは（参照 88 ページ）をご覧ください。

ファイルをビームする

本体と赤外線ポートを備えたPocket PCとの間で、赤外線通信によるデータ転送が行えます。

データを送受信する

1 **本体と他の Pocket PC の赤外線ポートの位置を合わせる**

● ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

2 **送信側の本体のファイルエクスプローラで、送信したいファイルまたは項目をタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

3 **ポップアップメニューから「ファイルをビームする」をタップする**

受信側の Pocket PC に、「データを受信中」が表示されます。

4 **受信側の Pocket PC で、「はい」をタップする**

データの送信 / 受信が行われます。

「いいえ」をタップするとデータの受信を中止します。

● 上記画面が表示されないときは、以下の操作を行ってください。
受信側の Pocket PC で、「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ビーム」をタップし、「赤外線を受信します。」をタップします。

お知らせ

● ファイルエクスプローラからだけでなく、各プログラムの一覧画面で、ポップアップメニューから「ファイルをビームする」の操作は行えます。

5. 使用環境設定

設定項目について

「スタート」の「設定」をタップし、「個人用」、「システム」または「接続」タブをタップすると次の項目が設定できます。

タブ	項目	説明	参照ページ
個人用	Today	「Today」画面に表示したい情報を設定します。	53
	オーナー情報	自分の連絡先個人情報を入力します。	54
	パスワード	電源をONにしたときにパスワードを入力しないと本体のデータにアクセスできないように設定します。	55
	ボタン	プログラムボタンを押したとき、何のプログラムが起動するか設定します。	57
	メニュー	「スタート」メニューに表示するプログラム、および「Today」画面上の「新規」メニューを設定します。	58
	入力	手書き入力または録音時のオプション設定をします。	–
	音と通知	音量、音を鳴らす場面、アラームなどを設定します。	–
システム	バージョン情報	システムのバージョン情報などを表示します。また、デバイスIDを設定できます。	–
	プログラムの削除	追加したプログラムを削除します。	24
	メモリ	データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの割り当てを変更できます。また、メモリカードの使用状況も確認できます。	62
	地域	数値、通過、時刻および日付の表示方法を設定します。	–
	時計	時刻を変更またはアラームを設定します。訪問先を指定すると訪問先の時刻も表示できます。	59
	画面	画面のタップ表示位置と実際のタップ位置がずれているときに画面を調整します。	–
	証明書	公開キー証明書を管理できます。	66
	アドバンスドサウンド	スピーカ、ヘッドホンの出力音声の音量を設定します。	65

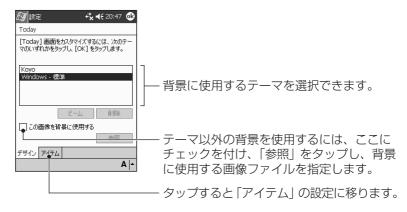
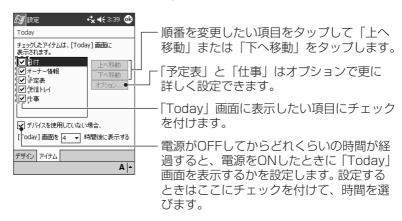
タブ	項目	説明	参照ページ
システム	システム情報	本体のシステム情報、ユーザー情報、ドライバ情報などを表示します。	－
	スクリーンライト	画面の明るさ、およびスクリーンライトを消灯するまでの時間を設定します。	61
	パワーマネージメント	充電残量を表示します。 電源OFFまでの時間、警告メッセージ、プログラムボタンによる電源ONなどの設定をします。	60
	マイクロフォン	マイクロホンのオート・ゲイン・コントロールを設定します。	－
接続	ビーム	ビームの設定をします。	－
	接続	インターネットの接続を設定します。	－

「Today」画面を設定する

「Today」画面の背景や「Today」画面に表示される項目を設定や変更できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「Today」をタップする

「Today」の設定画面が表示されます。

2 「Today」を設定する

「アイテム」タブでは、「Today」画面に表示される項目を設定できます。

3 設定を終えたらokをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「日付」は移動できません。
- 「Today」画面の説明は（参照 20ページ）をご覧ください。

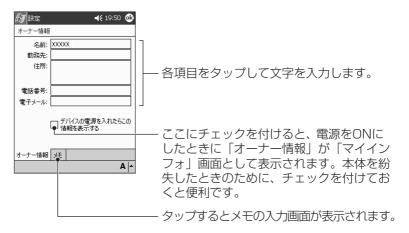
第2章
5・使用環境設定

「オーナー情報」を設定する

住所、名前、電話番号、電子メールアドレスなど、持ち主の情報を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「オーナー情報」をタップする

「オーナー情報」の設定画面が表示されます。

2 「オーナー情報」を入力する

3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

「パスワード」を設定する

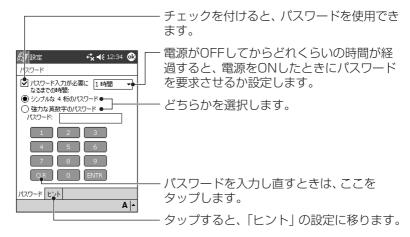
電源をONにしたときにパスワードを要求して、第三者からデータや設定を守ることができます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「パスワード」をタップする

「パスワード」の設定画面が表示されます。

2 「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、時間を設定する

3 「シンプルな４桁のパスワード」または「強力な英数字のパスワード」をタップして「パスワード」を設定する

下の画面は「シンプルな４桁のパスワード」を選択しています。

「強力な英数字のパスワード」を選んだときは、パスワードは７文字以上で、半角英数字（大文字と小文字）と区切り記号の組み合わせが必要です。パスワード欄と確認入力欄に同じパスワードを入力してください。

「ヒント」タブでは、パスワードを忘れたときにパスワードのヒントになる語句を設定できます。
パスワードのヒントは、パスワードの入力を連続して4回間違えた場合に表示されます。

4 設定を終えたらⓞⓚをタップする

「パスワードの設定の変更を保存しますか？」が表示されます。

5 「はい」をタップする

パスワードが保存され、「個人用」タブの画面に戻ります。

お願い

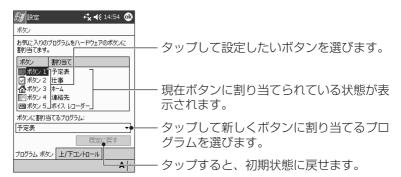
- パスワードを保存すると、「パスワード」設定画面を表示するのにもパスワードの入力が必要になります。
- パスワードは忘れないように控えておいてください。
- パスワードを忘れてしまったときは、本体の初期化を行わなければなりません。初期化を実行すると、本体に保存していたデータや設定がすべて失われてしまいますのでご注意ください。初期化の方法は（参照 184ページ）をご覧ください。
  定期的にデータのバックアップをしておけば、初期化した後、バックアップしたデータを本体にリストア（復元）できます。このときパスワードは解除されています。

「ボタン」を設定する

本体のプログラムボタン１、２、３、４、５によく使うプログラムをお好みで割り当てられます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「ボタン」をタップする

「ボタン」の設定画面が表示されます。

2 設定したいボタンを指定してプログラムを選択する

プログラムボタンの初期設定は次のとおりです。

- プログラムボタン１....「予定表」
- プログラムボタン２....「仕事」
- プログラムボタン３....「ホーム」
- プログラムボタン４....「連絡先」
- プログラムボタン５....「ボイスレコーダー」

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

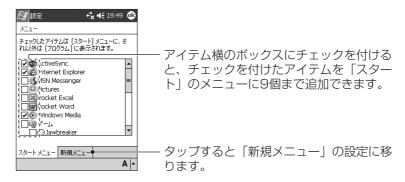
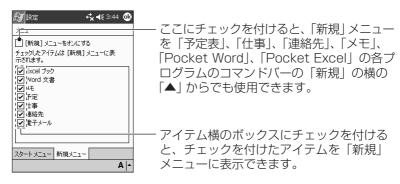
「個人用」タブの画面に戻ります。

「メニュー」を設定する

「スタート」メニューと「新規」メニューを設定できます。

1　「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「メニュー」をタップする

「メニュー」の設定画面が表示されます。

2　「メニュー」を設定する

「新規メニュー」タブでは、「Today」画面左下の「新規」をタップしたときに表示される項目を設定できます。

3　設定を終えたらokをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- チェックされたプログラム以外は、「スタート」の「プログラム」をタップすると表示されます。
- 「Today」、「プログラム」、「設定」、「検索」、「ヘルプ」は、「スタート」メニューからはずせません。

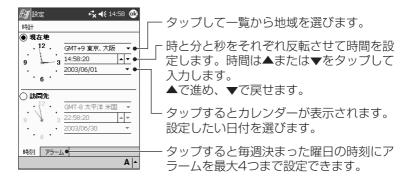
「時計」を設定する

現在地や時刻の設定だけでなく、出かける先の場所と時刻も同時に表示できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「時計」をタップする

「時計」の設定画面が表示されます。

● 「Today」画面で時計アイコンをタップしても「時計」の設定画面が表示されます。

2 「時計」を設定する

3 設定を終えたら ok をタップする

「時刻」タブの設定を変更した場合、「設定は変更されています。更新しますか？」という画面が表示されます。「はい」をタップしてください。

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

● 時刻設定は、時計の針をドラッグすることでも設定できます。

● パソコンと同期させたとき、時刻をパソコン側と同じに設定することができます（参照 44 ページ）。

「パワーマネージメント」を設定する

バッテリの充電残量が確認できます。また、本体の未使用時間に応じて電源をOFF（サスペンド）にする時間設定、充電残量による警告メッセージの設定などができます。

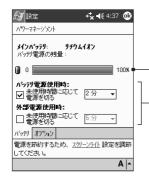
1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「パワーマネージメント」をタップする

「パワーマネージメント」の設定画面が表示されます。

2 「パワーマネージメント」を設定する

● 設定項目は、バッテリ／オプションのタブに分類されています。

■バッテリタブ

（バッテリ使用時）

バッテリの充電残量を示します。

チェックを付けて、時間を設定すると、本体の未使用時間が設定値になれば、電源をOFF（サスペンド）します。
初期値　バッテリ電源使用時　：2分
　　　　ACアダプタ使用時　：5分
ただし、パソコンとActiveSync接続しているときや、Windows Media Playerで再生しているときなどは、この機能は働きません。

■オプションタブ

つまみをドラッグして設定した充電残量になると、警告メッセージを表示します。

「有効」を選択すると、本体の電源がOFFしていても、プログラムボタンを押せば電源がONし、割り当てられているプログラムが起動します。「無効」を選択すると、電源はONしません。

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

「スクリーンライト」を設定する

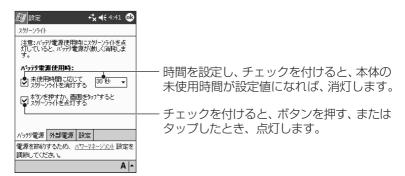
スクリーンライトの明るさのレベルは、「4段階」の中から選べます。見やすい明るさに設定してください。また、本体の未使用時間に応じてスクリーンライトを消灯する時間を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「スクリーンライト」をタップする

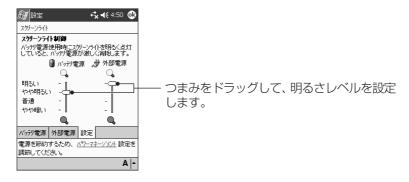
「スクリーンライト」の設定画面が表示されます。

2 「スクリーンライト」を設定する

■バッテリ電源タブ

バッテリ使用時について設定します。

■外部電源タブ

AC アダプタ接続時について設定します。

■設定タブ

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

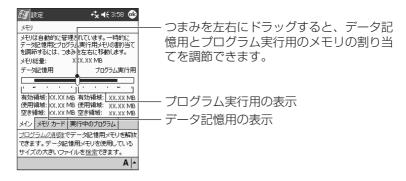
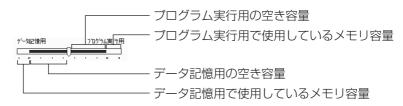
「メモリ」を設定する

データ記憶用メモリとプログラム実行用のメモリを調節したり、メモリカード等の空き容量を確認できます。また、実行中のプログラムを終了できます。

メモリの割り当てを変更する

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップする

「メモリ」の設定画面が表示されます。

2 メモリの割り当てを変更する

3 設定を終えたら ok をタップする

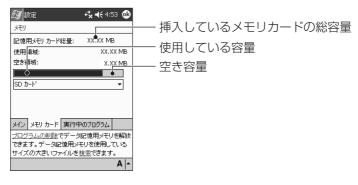
「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- メモリは自動的に管理されていますので、データ記憶用とプログラム実行用の割り当ては、自動的に調節されることがあります。

メモリカードの使用状況を確認する

1 「メモリ」の設定画面で「メモリカード」タブをタップする

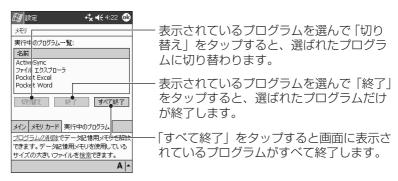
「メモリ」設定の「メモリカード」タブ画面が表示されます。

2 確認を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

実行中のプログラムを終了する

1 「メモリ」の設定画面で「実行中のプログラム」タブをタップする

「メモリ」設定の「実行中のプログラム」タブ画面が表示されます。

2 実行中のプログラムを終了する

3 ⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

● 「終了」を実行したときに、プログラムが入力待ち状態などの場合には、プログラムから応答がないことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面に従って操作してください。

メモリを解放する

メモリが不足してエラーメッセージが表示された場合や、メモリの空き容量を増やしたい場合は、メモリの解放を行ってください。メモリを解放する方法として、以下の方法があげられます。

- メモリカード等にデータを移して、本体からデータを削除する。
- 不要なファイルを削除する。
- 実行中のプログラムを終了する。
- 使用しないプログラムを削除する。
- 本体をリセットする。
  リセットの方法は、（参照 183ページ）をご覧ください。

お知らせ

● メモリを解放する方法は、「メモリ」のオンラインヘルプもご覧ください。

「アドバンスドサウンド」を設定する

本体スピーカ、ヘッドホンから出力される音声の音量を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「アドバンスドサウンド」をタップする

「アドバンスドサウンド」の設定画面が表示されます。

2 つまみをドラッグして、音量を設定する

「ヘッドフォン」タブでは、ヘッドホンから出力される音量を設定できます。

3 設定を終えたら ok をタップする

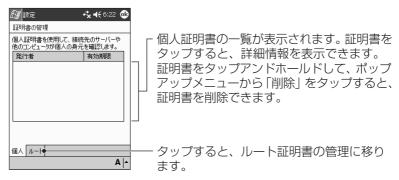
「システム」タブの画面に戻ります。

証明書を管理する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続元のサーバーを識別するルート証明書の確認ができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「証明書」をタップする

「証明書の管理」画面が表示されます。

2 証明書を管理する

「ルート」タブでは、ルート証明書の管理ができます。

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

6. ホームを使う

「ホーム」を使うと、「ホーム」画面に配置されたアイコンをタップして、内蔵またはインストールされているアプリケーション（プログラム）を簡単に起動できます。また、実行中のプログラムを一覧表示し、そのプログラムへの切り替えと終了を簡単に行えます。「ホーム」画面は、アイコンやタブの追加、背景の変更など、いろいろアレンジできます。

「ホーム」画面からアプリケーションを起動する

1 「スタート」の「プログラム」から「ホーム」をタップする

「ホーム」画面が表示されます。

- 本体のホームボタンを押しても起動します。
- 初期状態では、「メイン」、「プログラム」、「ゲーム」のタブをタップすると、アプリケーションのアイコンが登録されています。「実行中」のタブをタップすると、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。

タブをタップすると切り替わります。

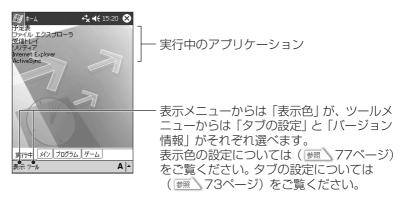
2 タブを切り替えて、起動したいアプリケーションのアイコンをタップする

タップしたアプリケーションが起動します。

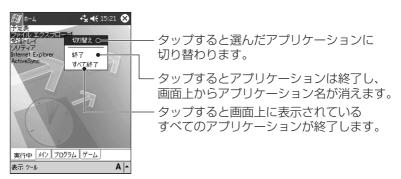
お知らせ

- アプリケーションは、カーソルボタンで選んでカーソルボタンの中央を押しても起動します。

「実行中」タブについて

「実行中」タブには、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。アイコンは表示されません。

アプリケーションの切り替え／終了

切り替えたいアプリケーション名をタップします。

● 切り替えたいアプリケーション名をタップアンドホールドして、表示されたポップアップメニューからも切り替えられます。

お知らせ

● 「実行中」タブ内のアプリケーション名以外のところをタップアンドホールドしてもポップアップメニューが表示されます。このときは「すべて終了」だけが選べます。

アイコンの移動

タブ間でアイコンを移動できます。新しいタブを作成するには、（参照 73ページ）をご覧ください。

ポップアップメニューを使って他のタブへ移動する

1 **移動したいアイコンをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「切り取り」をタップする**

3 **移動先にしたいタブに切り替え、タップアンドホールドし、「貼り付け」をタップする**

お知らせ

- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

ドラッグアンドドロップを使って他のタブへ移動する

1 **移動したいアイコンをタップしたまま、移動したいタブまでドラッグし、アイコンをドロップする**

アイコンが移動し、元のタブからアイコンが削除されます。

お知らせ

- 移動可能なアイコンは、タップしたときに反転します。
- 同じタブ内にドラッグアンドドロップしたときは、元の位置から移動は行われません。
- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

アイコンの削除

アイコンを削除できます。アイコンを削除しても、アプリケーションそのものが本体から削除されるわけではありません。

1 **削除したいアイコンをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューから「削除」をタップする**

アイコンが削除され、削除されたアイコンより後のものが1つずつ前に移動します。

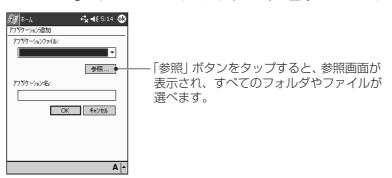
アイコンの追加

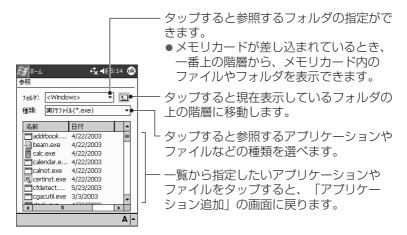
新しくインストールしたアプリケーションのアイコンを追加できます。
ホームのアイコンには、アプリケーションの他に、作成したファイルなども指定できます。

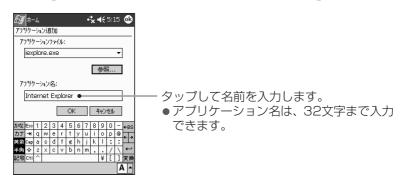
1 追加したいタブの画面上をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから、「追加」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が表示されます。
● コマンドバーの「編集」メニュー→「追加」も選べます。

2 アプリケーションを指定する

「アプリケーションファイル」の▼をタップすると、アプリケーションの一覧が表示されます。一覧にない場合は、「参照」で探してください。
後からインストールされたアプリケーションの多くは、「Program Files」フォルダの下の階層にインストールされ、「Windows¥スタートメニュー¥プログラム」フォルダにショートカット（＊.lnk）が登録されています。

アプリケーションを選ぶと、アプリケーション名に選んだ名前が表示されます。

参照画面について

3 アイコン名を入力する

「ホーム」画面に表示するアイコン名を「アプリケーション名」に入力します。

4 「OK」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が閉じ、アイコンが追加されます。

お知らせ

- 「アプリケーション」を指定していないとアイコンを追加できません。また、アプリケーション名を入力していないときも、アイコンを追加できません。
- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

アイコンの表示切り替え

アイコンの表示は、「表示」メニューから切り替えられます。
「大きいアイコン」と「小さいアイコン」を、お好みに合わせて選べます。

（例）小さいアイコン

（例）大きいアイコン

タブの設定

タブの設定では、タブの追加、削除、タブ名の変更などが設定できます。また、タブの背景にお好みのビットマップ画像を設定することもできます。

タブの切り替え

タブを切り替えるには、タブをタップします。
初期状態では、「実行中」を含む、「メイン」、「プログラム」、「ゲーム」の４つのタブが登録されています。
「ホーム」を割り当てたプログラムボタンを押しても、タブを切り替えることができます。

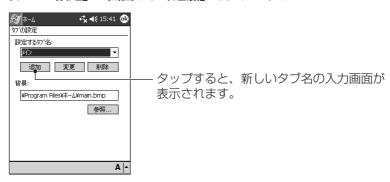
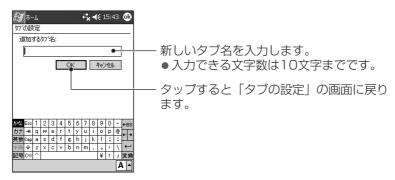
タブの追加

タブを追加することにより、お好みに合わせてアイコンを分類できます。同じアイコンもタブが違えば両方に追加できます。

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

タップすると「タブの設定」の画面が表示されます。

タップすると「ホーム」のバージョン情報が表示されます。

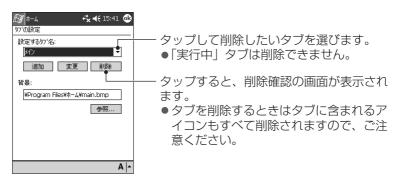
2 「タブの設定」の画面から「追加」をタップする

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。
● 新しいタブは、既存のタブの右側に追加されます。

お知らせ
● タブは最大10個まで増やすことができます。
● タブの並び順は、変更できません。

タブの削除

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

2 「タブの設定」の画面からタブ名を選び、「削除」をタップする

3 削除確認のダイアログから「はい」をタップする

タブが削除され、「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

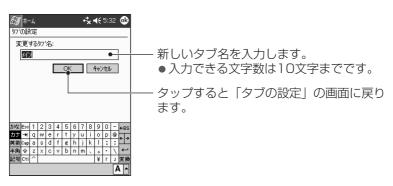
タブ名の変更

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 変更したいタブ名を選び、「変更」をタップする

●「実行中」タブのタブ名は変更できません。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする

4 「タブの設定」画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

背景の画像の設定

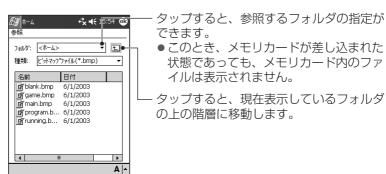
タブごとに背景の画像を設定できます。

1 「ツール」→「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 設定したいタブ名を選ぶ

3 「参照」をタップする

参照画面が表示されます。

4 一覧から背景にしたいビットマップファイルをタップする

「タブの設定」画面に戻ります。

5 「タブの設定」の画面で(ok)をタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 背景に設定できるのは、ビットマップファイルのみです。
- 背景に設定したビットマップ画像が、「ホーム」画面上に表示される範囲は、横240×縦246ドットです。

表示色の設定

タブごとにアプリケーション名の文字を表示する色を設定できます。

1 色を設定したいタブをタップする

2 「表示」→「表示色」をタップする

表示色の一覧が表示されます。

タップすると、お好みに合わせて色を設定できます。

3 設定したい色をタップする

タブ上のアプリケーション名を表示する色が変更されます。

7. データのバックアップ

メモリカードに、本体のデータをバックアップできます。バックアップしたデータは本体にリストア（復元）できます。また、メモリカードからバックアップしたデータを削除することもできます。
重要なデータは、定期的にバックアップしておいてください。

バックアップされるデータは、以下の３種類です。

- ファイル
  Pocket Word、Pocket Excel、メモなどで作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど
- レジストリ
  OS（Windows CE）や内蔵プログラムの設定情報
- データベース
  Microsoft Pocket Outlook のデータベース情報

お願い

- 「設定」の日付、時刻、パスワードなど、復元されないデータがあります。
- バックアップやリストア、バックアップファイルの削除をするときは、他のアプリケーションを終了させ、本体に AC アダプタを接続してから行ってください。
- バックアップ中、またはリストアやバックアップファイルを削除しているときに絶対に本体の電源を切らないでください。データやメモリカード、本体が破損する場合があります。
- バックアップやリストアを行うときは、本体またはメモリカードの空き容量を確認してください。
- 指定されたメモリカードが書き込み禁止になっていると、バックアップできません。書き込み禁止を解除してから、バックアップを行ってください。
- システムを更新（ROMのアップデート）した場合は、更新する前にバックアップしたデータを正常にリストアできない可能性があります。

これらの操作を誤った場合は、本体やメモリカードのデータが消失するおそれがあります。

バックアップをとる

あらかじめ本体にSDカードをセットしておいてください。

1 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

「データバックアップ」の画面が表示されます。

2 ファイル名を入力する

3 「バックアップ」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

4 「はい」をタップする

バックアップを開始します。
バックアップが終了すると、バックアップ終了のメッセージが表示されます。

5 ok をタップする

「データバックアップ」の画面に戻ります。

リストアをする

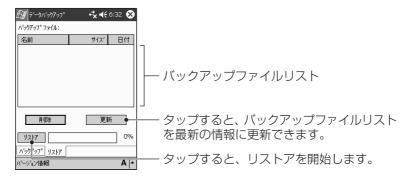
リストアをすると、メモリカードにバックアップしたデータを、本体メモリに復元（上書きコピー）します。

- 本体メモリに同じファイル名がある場合、バックアップファイルのデータに上書きされます。
- 本体メモリにあるファイルで、バックアップファイルにないものは、そのまま残ります。

1 バックアップしたメモリカードを本体に入れる

2 「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする

「データバックアップ」の画面が表示されます。

3 「リストア」タブをタップする

4 バックアップファイルリストから、リストアするファイルを選択する

5 「リストア」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

6 「はい」をタップする

リストア中のメッセージが表示され、リストアが開始されます。

- リストアが終了すると、リストア終了のメッセージが表示されます。

7 ok をタップする

自動的に本体がリセットされ、再起動します。

お知らせ

- 本製品（GENIO e350）以外のGENIO eシリーズや、他社のPocket PC（以下、他のPocket PCと呼びます）でバックアップしたデータは、この本体にリストアできません。他のPocket PCのデータをこの本体に取り込みたい場合は、ActiveSyncを使って他のPocket PCとパソコンの同期をとってください。次にこの本体とパソコンで同期をとり、データをこの本体に取り込んでください。

バックアップファイルを削除する

1 **バックアップファイルを削除したいメモリカードを入れる**

2 **「スタート」の「プログラム」から「データバックアップ」をタップする**

「データバックアップ」の画面が表示されます。

3 **「リストア」タブをタップする**

4 **バックアップファイルリストから、削除するファイルを選択する**

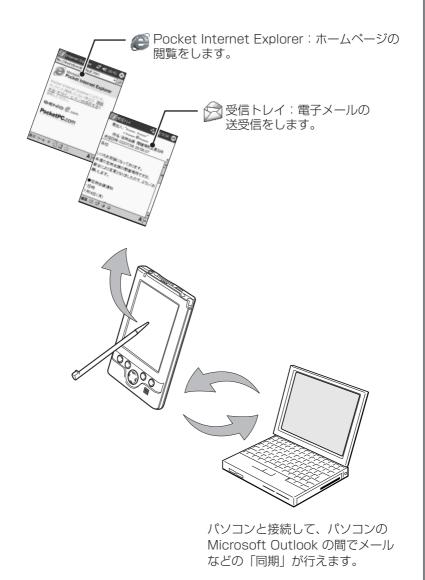
5 **「削除」をタップする**

バックアップファイルの削除確認画面が表示されます。

6 **「はい」をタップする**

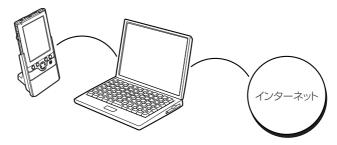
バックアップファイルが削除されます。

第3章 インターネットの利用

パソコンや通信機器と接続して、ホームページの閲覧、電子メールの送受信が可能になります。

1. インターネットの接続

インターネットやメールの送受信は、パソコンや通信機器と接続して行います。
インターネットの接続設定と電子メールの接続設定（受信トレイの設定）をそれぞれ行います。

パススルーで接続する

パソコン側のインターネット接続を利用して、ホームページの閲覧、電子メールの送受信をすることができます。

パソコン側での操作は、次のとおりです。

1 パソコン側で ActiveSync を起動する

2 「ツール」→「オプション」から「規則」タブをクリックする

3 「パススルー」の「接続」で接続方法を選択する

- 社内ネットワーク .... 社内からインターネットに接続するとき
- インターネット .... 自宅などからインターネットに接続するとき

■ホームページを閲覧する場合

1 本体をクレードルに接続した状態でPocket Internet Explorerを起動する

- 「ホームページを見る」（参照 93 ページ）の操作を行ってください。

■電子メールの送受信をする場合

1 受信トレイの接続設定を行う

- 「受信トレイの接続設定」（参照 88 ページ）をご覧ください。
- パソコン側の ActiveSync で、パススルーの接続を「社内ネットワーク」に設定した場合は、受信トレイの接続設定の操作６で、「オプション」をタップし、「接続：」を「既定の社内ネットワーク設定」に設定してください。

2 本体をクレードルに接続し、「受信トレイ」のコマンドバーの「メール送受信」アイコンをタップする

- メールを送信する場合は、「送信トレイ」フォルダにメールを保存しておきます。
- メールの作成方法などは「メールを送受信する」（参照 100ページ）をご覧ください。

2. 電子メールの接続設定

電子メールの接続設定（受信トレイの接続設定）を行います。

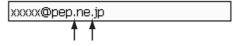
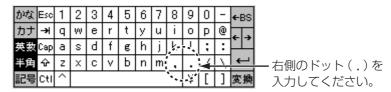
受信トレイの接続設定

1 「スタート」の「受信トレイ」をタップする

受信トレイが起動します。

2 「アカウント」→「新しいアカウント」をタップする

「電子メールのセットアップ（1/5)」の画面が表示されます。

メールアドレスの入力について、カンマ（，）とドット（．）の違いにご留意ください。
一般に、メールアドレスにはドット（．）が使われています。

入力パネルのキー配列では、カンマ（，）とドット（．）は隣同士にあります。

3 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（2/5）」の画面が表示されます。
「状態：」のフィールド表示が「終了」になるのを確認してください。

- ネットワークへのログオンの画面が表示されたときは、「キャンセル」をタップします

接続中...

本体をクレードルに接続していると、「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「終了」になるまでお待ちください。

4 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（3/5）」の画面が表示されます。
「ユーザー情報」を入力してください。

差出人として相手方に表示される名前を入力します。初期値は「オーナー情報」で設定した名前が表示されます。

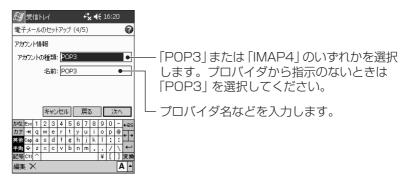
プロバイダから指定されたメールサーバーへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力します
（ユーザー名には、操作2で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されますので必要に応じて書きかえてください）。

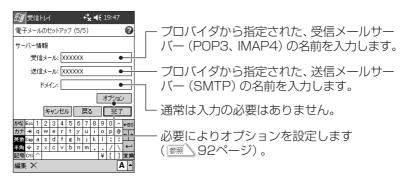
チェックを付けると、パスワードを保存します。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼びかたがあります。

ユーザー名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザーID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

5 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（4/5）」の画面が表示されます。
「アカウント情報」を入力してください。

6 「次へ」をタップする

「電子メールのセットアップ（5/5）」の画面が表示されます。
「サーバー情報」を入力してください。

7 「完了」をタップする

「受信トレイ」の画面に戻ります。

受信トレイの接続設定を変更する

1 「受信トレイ」の一覧画面で「アカウント」→「アカウント」をタップする

アカウントの一覧が表示されます。

2 変更したいアカウントをタップする

「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。

● 作成したアカウントを削除する場合は、アカウント名をタップアンドホールドして削除します。

3 設定したときと同じように設定する

「受信トレイの接続設定」の操作２以降（参照 88～90ページ）をご覧ください。

■接続設定のオプションを変更する

「電子メールのセットアップ（4/4）」の画面で、「オプション」をタップして変更します。「オプション」は、３画面用意されています。「次へ」をタップして順に表示できます。必要に応じて設定してください。

● オプション１

● オプション２

● オプション３

●「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバー上のメールは削除されません。

●「メッセージの全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバーにアクセスするとサーバー上のメールも削除されます。
受信メールを削除しなければ、サーバー上のメールは削除されません。

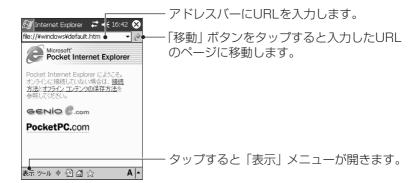
「オプション」の設定後、「完了」をタップしてください。

3. ホームページを見る

Pocket Internet Explorer を使ってホームページを閲覧できます。
ホームページの閲覧は、インターネット接続を利用します。インターネット接続の設定をしていない場合は（参照 86 ページ）をご覧になり、設定してください。

インターネットに接続し、ホームページを見る

1 「スタート」の「Internet Explorer」をタップする

Pocket Internet Explorer が起動します。

2 アドレスバーに URL を入力し、「移動」ボタンを押す

接続を開始し、指定した URL のページに移動します。
接続設定時に「パスワード」を入力した場合は、接続を開始します。
接続設定時に「パスワード」を入力していない場合は、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップしてください。接続を開始します。入力後、「OK」をタップしないで、時間が経つと、前の画面に戻り入力した内容は保存されません。

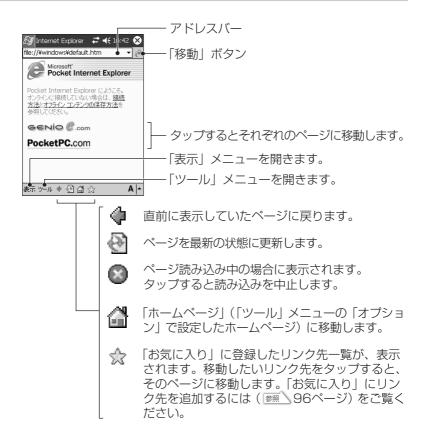
■接続を切断するには

次のようにして切断してください。

- ケーブルまたはクレードルで接続しているときは、本体をケーブルまたはクレードルから取りはずすか、画面下のコマンドバーの をタップして、「切断」をタップします。
- 赤外線で接続しているときは、本体を PC から離します。

お知らせ

- 「お気に入り」からリンク先をタップして、そのページを見ることができます（参照 95 ページ）。
- パソコンからお気に入りのリンクを本体の「お気に入り」に取り込めます。「「お気に入り」をパソコンと同期する」（参照 98 ページ）をご覧ください。

Pocket Internet Explorer について

「表示」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「次へ」.......................... 前に表示していたページに戻ります。
「画面に合わせる」....... 本体の画面の幅に合わせてページを表示します。
「イメージの表示」....... ページの画像を表示／非表示に切り替えます。
「アドレスバー」........... タップすると、アドレスバーの表示／非表示を切り替えられます。
「文字のサイズ」........... 表示する文字の大きさを設定します。
「履歴」.......................... 過去に表示したリンク先の一覧画面を表示します。
「プロパティ」............... 表示しているページの情報を表示します。

「ツール」メニュー

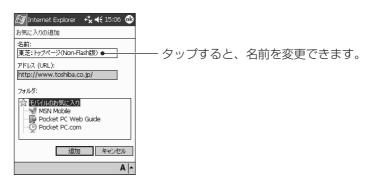
各項目をタップすると以下のようになります。

「電子メールからリンクを送る」.. 受信トレイが起動し、表示しているページの URL を載せたメッセージ作成画面が表示されます。受信トレイの使いかたは(参照 100 ページ)をご覧ください。
「すべてのテキストを選択」.......... すべてのテキスト文字を選択します。
「オプション」................................ オプション設定画面を表示します。(参照 97 ページ) をご覧ください。

「お気に入り」に追加するには

1 「お気に入り」に追加したいページを表示中に、☆をタップする

2 「追加／削除」タブをタップし、「追加」をタップする

「お気に入りの追加」の画面が表示されます。

3 「追加」をタップする

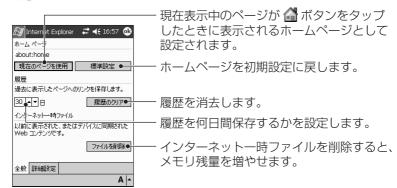
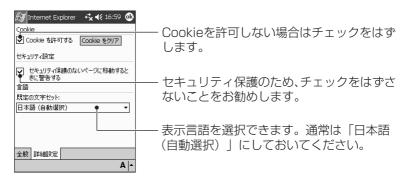
「お気に入り」に追加され、「お気に入り」の「追加／削除」タブの画面に戻ります。

お知らせ

● 「お気に入り」から削除するには、「お気に入り」の一覧画面で「追加／削除」タブをタップして、削除したいリンク先を選んで「削除」をタップし、「はい」をタップします。

「オプション」設定について

「ツール」→「オプション」を選択すると、以下の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

●「全般」タブ

●「詳細設定」タブ

お知らせ

- Cookieには、ユーザーの識別情報やページにアクセスしたときの設定などの情報が含まれ、ページから本体に送られ保存されます。このファイルによって、ページの情報がユーザーの要求に合わせて調整されます。

閲覧できるホームページ

- Pocket Internet Explorer は、次の機能に対応しています。
  - ･HTML（Hyper Text Markup Language）レベル 3.2 に準拠
  - ･SSL 2.0/3.0
- Pocket Internet Explorer は、パソコン用のブラウザと比べると、機能が制限されています。
  - ･パソコン用のブラウザで閲覧することを前提に作られたホームページで、一部のホームページは表示できない場合があります。
  - ･プラグインを必要とするホームページは、利用できない場合があります。
  - ･ホームトレードページは、利用できない場合があります。

「お気に入り」をパソコンと同期する

ActiveSync で「お気に入り」を同期設定していると（参照 44 ページ）、パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」の中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されています。本体とパソコンを接続して同期したときに「モバイルのお気に入り」フォルダに入れたリンク内容と本体の「お気に入り」のリンク内容が同期されます。

パソコンで取り込んだホームページを本体で見る

パソコンのInternet Explorer5.0 以上を使用している場合は、本体にお気に入りのページをダウンロードして、本体でオフライン時にそのページを見ることができます。

1 **パソコンで Internet Explorer を起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」をクリックする**

2 **「OK」をクリックする**

そのページがパソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダにダウンロードされます。

3 **本体とパソコンを同期する**

パソコンで取り込んだページが本体に転送されます。

4 本体のPocket Internet Explorerを起動し、☆をタップする

パソコンで取り込んだページタイトルが追加されています。

5 そのページタイトルをタップする

取り込んだページが表示されます。

お知らせ

- そのページにリンクしているページもダウンロードしたい場合は、パソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダ内のページタイトルを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ダウンロード」タブで、ダウンロードしたいリンクの深さを変更できます。リンクを深く設定した場合、メモリをたくさん使います。

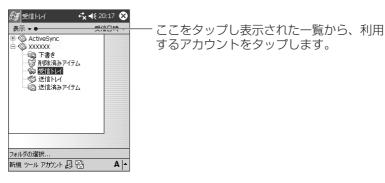
4. メールを送受信する

メールメッセージの送受信は、Microsoft Pocket Outlookの「受信トレイ」と、インターネット接続を利用します。メールの送受信には、メールの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 88ページ）をご覧になり、設定してください。インターネット接続の設定をしていない場合は（参照 86ページ）をご覧になり、設定してください。

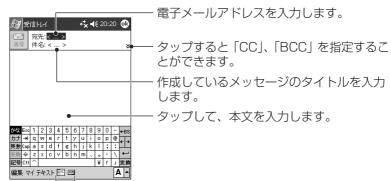
新規にメッセージを作成し、送信する

1 「スタート」の「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

2 メールの送信に利用するアカウントを選ぶ

3 「新規」をタップする

メッセージの作成画面が表示されます。

4 「宛先」、「件名」を入力し、本文を入力する

……このボタンをタップすると、電子メールのアドレス一覧が表示されます。送信先にしたいアドレスをタップすると、宛先に選んだアドレスが入力されます。もう１度このボタンをタップするとアドレス一覧が消えます。「宛先」をタップしても同じようになります。
ここで表示されるアドレス一覧は、「連絡先」で登録した電子メールアドレスの一覧です。

……このボタンをタップすると、録音ツールバーが表示され音声を添付ファイルとして送信できます。

5 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

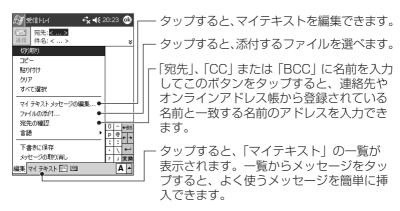
- 「送信」をタップしないでokをタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。このメッセージを送信するには、１度メッセージを表示させてから「送信」をタップしてください。

6 メールサーバーに接続する

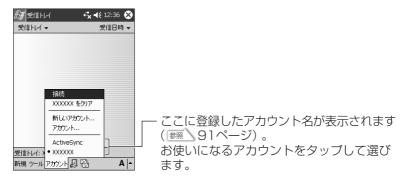
メールサーバーへの接続のしかたは次ページをご覧ください。
「送信トレイ」フォルダにあるメッセージが送信されます。

お知らせ

- 「CC」や「BCC」には、参考に送信したい人のアドレスを入力します。「BCC」に入れたアドレスは、BCCで受け取った人以外から見えないように配信されます。
- 電子メールアドレスを複数入力するときは、セミコロン（;）で区切って入力します。

■メッセージ作成画面について

メールサーバーに接続する

メールサーバーに接続すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメッセージを送信し、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

1 「アカウント」メニューから接続に使うアカウント名をタップする

2 「接続」をタップする

受信トレイの接続設定時に、「パスワード」を入力／保存した場合は、接続を開始します。
「パスワード」を入力／保存していない場合は、「アカウントのパスワード」の画面が表示されます。「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、「OK」をタップしてください。
接続が開始されます。
メールサーバーへの接続が完了すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメールが送信され、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

3 メールの送受信が完了したら、「アカウント」→「切断」をタップする

メールサーバーへの接続が切断されます。

メッセージを見る／返信する／転送する

メールサーバーに接続すると、メッセージを受信できます。受信したメッセージを見たり、返信したり、転送できます。

メッセージを見る

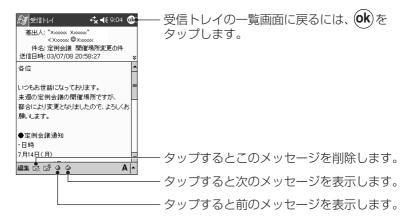
1 「スタート」の「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

別のアカウントの受信メールを見る場合は、ここをタップして、見たいアカウントの「受信トレイ」フォルダを選びます。

現在選択している「受信トレイ」フォルダが属するアカウント名が表示されます。

2 見たいメッセージをタップする

メッセージの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信メッセージの初期設定は、メッセージヘッダーのみ取得する設定になっています（参照 92 ページ）。

■メッセージの全文を取得する

受信メッセージが途中で切れているときや添付ファイルを見たい場合は、指定したメッセージだけメッセージの全文を取得できます。

1 メッセージの一覧で、メッセージの全文を取得したいメッセージをタップアンドホールドする

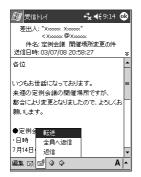
2 「後でダウンロードする」をタップする

3 メールサーバーに接続する

指定したメッセージの全文を取得できます。

メッセージを返信／転送する

1 「メッセージを見る」の操作 1、2 に従って、メッセージの内容を表示する

2 をタップし、「返信」、「全員へ返信」または「転送」をタップする

- 「返信」をタップすると、差出人を宛先にしたメッセージ作成画面になります。
- 「全員へ返信」をタップすると、差出人だけでなく同じメールを受信した全員を宛先にできます（CCで受信した人はCCに指定されます）。
- 「転送」をタップしたときは、転送先（宛先）を入力してください。

3 返信または転送のメッセージを入力する

4 「送信」をタップする

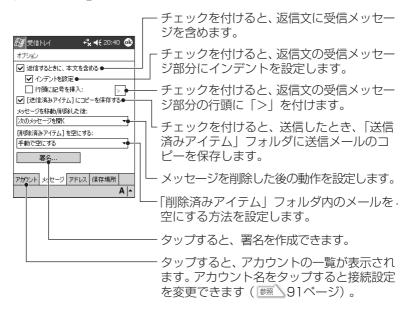
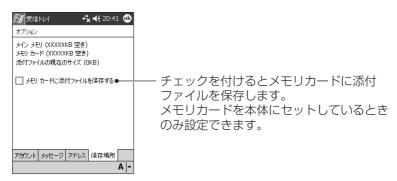
作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。
- 送信するには、メールサーバーへ接続してください。

お知らせ

- 受信トレイの一覧画面で、返信または転送したいメールをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、「返信」、「全員へ返信」または「転送」が選べます。

メッセージのオプションの変更をする

1 メッセージの一覧画面で、「ツール」→「オプション」をタップする

2 「メッセージ」タブをタップする

3 「保存場所」タブをタップする

4 設定が終わったらokをタップする

メッセージを整理する

新規フォルダを作成する

メッセージを整理して保存するために、新規にフォルダを作成することができます。送信者や内容別に振り分けると便利です。

1 「ツール」→「フォルダの管理」をタップし、その下にフォルダを作成したいフォルダをタップする

● ActiveSyncフォルダの下に、新規フォルダを作成することはできません。

ここをタップして、新しいフォルダを作成します。

2 「新規」をタップする

フォルダ名を入力する画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力し、ok をタップする

フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 作成したフォルダはフォルダの管理の画面で「名前の変更」をタップすると名前の変更ができます。をタップすると、削除ができます。

メールを削除する

1 **受信トレイの一覧画面で、削除したいメッセージをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「削除」をタップする**

選んだメッセージは、「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

お知らせ

- 「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを完全に削除するには、「ツール」メニューの「[削除済みアイテム] を空にする」をタップします。または、「削除済みアイテム」フォルダ内のメールをタップアンドホールドして、「削除」をタップします。

メールを移動する

1 **受信トレイの一覧画面で、移動したいメールをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **「移動」をタップする**

移動先のフォルダを指定する画面になります。

3 **移動先のフォルダをタップし、ok をタップする**

指定したフォルダにメールが移動されます。

お知らせ

- 別のアカウントのフォルダには移動できません。

パソコンと同期する

本体が直接メールサーバーと接続してメールを送受信する方法とは別に、本体をパソコンと接続して同期すると、パソコンで受信したメッセージを本体で見たり、本体で作成したメッセージをパソコンから送ることができます。
具体的には、パソコン上のOutlookの「受信メール」のメールと本体「ActiveSync」フォルダのメールが次のように同期します。

- パソコン側に新着メッセージがある場合は、本体の「ActiveSync」フォルダの「受信トレイ」フォルダにその新着メッセージがコピーされます。初期設定では、最近５日間までのメッセージで、取得行数は最初の100行までです。
- 本体の「ActiveSync」フォルダの「送信トレイ」フォルダに入れたメッセージは、パソコン側の「送信トレイ」フォルダに転送されます。パソコン側でメールサーバーに接続すると、そのメッセージは、送信されます。
- 本体側で削除したメールは、次回同期時パソコン側でも削除されます。
- パソコン側で「受信トレイ」にサブフォルダを作成し、ActiveSyncの設定でそのサブフォルダを同期することもできます。

第4章
個人情報の管理
Microsoft Pocket Outlook

Microsoft Pocket Outlook の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」を使用して個人情報を管理します。

Pocket Outlookは本体だけでも使えますが、ActiveSyncを使ってパソコンと同期すると、より便利に使用できます。

パソコンと接続して、パソコンのMicrosoft Outlook などとの間でデータの「同期」が行えます。

1.「予定表」の作成と使いかた

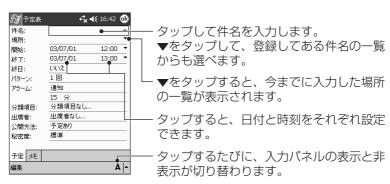
予定や会議などのスケジュールを管理します。日、週、月、年単位で表示したり、スケジュールに合わせてアラーム機能を設定したりできます。

新規に予定を入力する

1 「スタート」の「予定表」をタップする

「予定表」の一覧画面が表示されます。

2 画面左下の「新規」をタップする

予定の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 29、125 ページ）をご覧ください。
- 入力項目については、「予定表の項目について」（参照 116ページ）をご覧ください。

4 ok をタップする

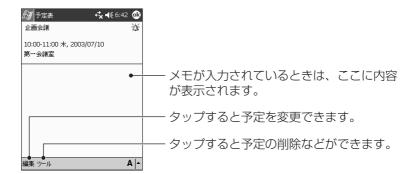
入力した予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 「予定」でアラームを設定してもアラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。

入力済みの予定を変更する

1 「予定表」の一覧画面で、変更したい予定をタップする

予定の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

項目を変更します。

メモを変更するときはここをタップします。メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

予定表の項目について

件名	仕事名や、予定の名称を設定します。自分で入力する以外に「▼」をタップして、件名の一覧からも選べます。
場所	予定の場所を入力します。「▼」をタップして、以前に入力した場所の一覧からも選べます。
開始／終了	予定の日付や時刻を設定できます。日付をタップするとカレンダーが表示されます。カレンダーから設定したい日付を選んでください。
終日	「いいえ」を選ぶと予定を時間単位で設定できます。「はい」を選ぶと選んだ日付が一日中対象となり、時間は設定できません。
パターン	設定中の予定を一回だけにするか、定期的な予定にするかどうかを選べます。
アラーム	通知を選んだ場合、予定のどれぐらい前にアラームを鳴らすかを選べます。
分類項目	仕事や個人用など、分類を設定できます。また、分類項目は追加や削除も行えます。
出席者	連絡先でメールアドレスを登録してある人のリストが一覧表示されます。出席者にチェックを付けると ActiveSync やプロバイダを使って、選んだ相手に予定を通知できます。 ActiveSync とプロバイダのどちらを使用して通知するかは、「ツール」→「オプション」の「会議出席依頼の送信方法」で選べます。ActiveSync を選んだ場合、パソコンと同期したときに通知メールが送信されます。プロバイダを選んだ場合、本体でインターネットに接続したときに通知メールが送信されます。
公開方法	予定をインターネットなどで公開するときの表示方法を選べます。
秘密度	予定の内容に合わせて、標準またはプライベートのどちらかを設定します。

予定表の表示画面（一覧画面）を切り替える

画面下のコマンドバーのボタンをタップして、またはプログラムボタン１（予定表）を押して、予定表の表示方法を切り替えられます。

画面下のコマンドバーのボタン

計画表表示

タップするとカレンダーが表示され、日付をタップするとその日の予定が表示されます。

をタップすると今日の予定が表示されます。

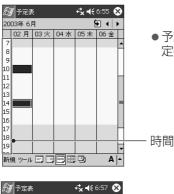
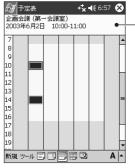
● 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

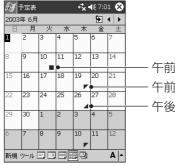
予定項目をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などが選べます。

日単位表示

● 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

時間

週単位表示

● 予定項目をタップすると、画面上部に予定の概要が表示されます。

● 予定の概要をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

月間カレンダー

年間カレンダー

- 「ツール」→「オプション」をタップすると、表示内容などを変更できます。

予定表の便利な使いかた

予定表に祝日を設定する

パソコン側の Outlook と同期することによって、Pocket Outlook の予定表に祝日を設定できます。

1 **パソコンの Outlook で予定表に祝日を追加する**

祝日の追加については、パソコンの Outlook のヘルプをご覧ください。

2 **ActiveSync で予定表を同期する**

予定表に祝日が追加されます。

パソコンと同期したときの予定について

ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、同期する前に同期する項目や期間の設定をご確認ください（参照 44 ページ）。設定によっては、同期をした際に古いデータが削除されてしまうことがあります。

2. 「連絡先」の入力と編集

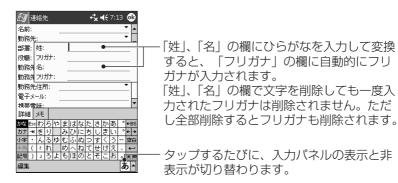
名前・電話番号・電子メールアドレス・住所などの各種情報を管理します。

新規に連絡先を入力する

1 「スタート」の「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

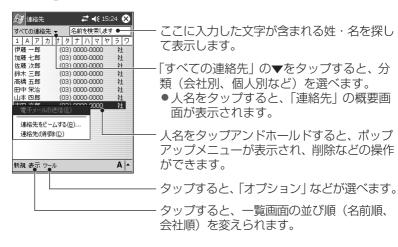
「連絡先」の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップするとメモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 29、125 ページ）をご覧ください。

4 ok をタップする

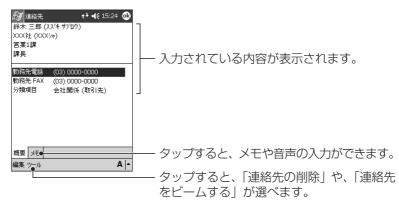
入力した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

連絡先の一覧を表示する

1 「スタート」の「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。

連絡先を変更する

1 「連絡先」の一覧画面で、変更したい連絡先の名前をタップする

「連絡先」の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

項目の内容が変更できます。

3 ok をタップする

変更した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

3.「仕事」の管理

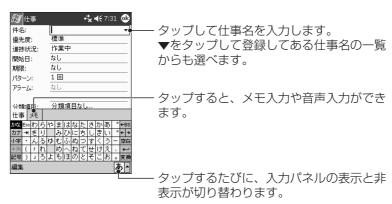
仕事の進行状況や期限などを管理できます。また、アラームも設定できます。

新規に仕事を入力する

1 「スタート」の「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

「仕事」の入力画面が表示されます。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 29、125 ページ）をご覧ください。

4 ⓞⓚをタップする

入力した仕事名が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

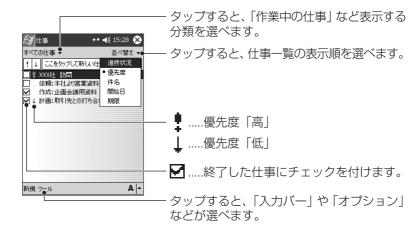
お知らせ

- 「仕事」でアラームを設定しても、アラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。
- 「仕事」の一覧画面の「ツール」→「入力バー」にチェックを付けると、一覧画面で新規に仕事を入力できます。

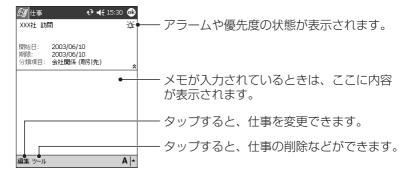
仕事の一覧を表示する

1 「スタート」の「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。

- 期限を過ぎた仕事は赤色で表示されます。

入力済みの仕事を変更する

1 「仕事」の一覧画面で、変更したい仕事をタップする

仕事の概要画面が表示されます。

2 「編集」をタップする

- 項目を変更します。
- メモを変更するときは「メモ」タブをタップします。
  メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

変更した仕事が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

4.「メモ」の作成と使いかた

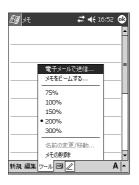
文字や図をすばやく手書きしたり、「メモ」の中に音声を録音することもできます。

メモを入力する

1 「スタート」の「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 「新規」をタップする

「メモ」の入力画面が表示されます。

- 画面下の「ツール」をタップすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。
- 画面下の をタップすると「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が、交互に切り替わります。
- 「手書き入力モード」画面は罫線が表示されます。

3 入力する

手書き（フリーハンド）入力モードのときはスタイラスで画面に直接入力します。文字入力モードのときはキーボードを使って入力します。

- 罫線に沿って手書きしたメモは、画面を「文字入力モード」に切り替えたときに、切り取り／コピー／貼り付けなどの編集ができます。
- 罫線を３本以上またがったメモは、描画として認識され、その範囲が破線で示されます。

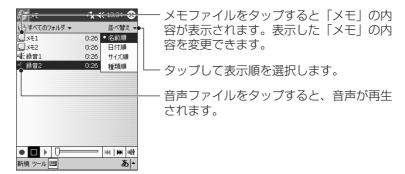
4 ⓞⓚをタップする

内容が保存され、「メモ」の一覧画面に戻ります。
手書き入力モードで入力したメモのファイル名は「メモ１」、「メモ２」…と自動的に付けられます。

メモの一覧を表示する

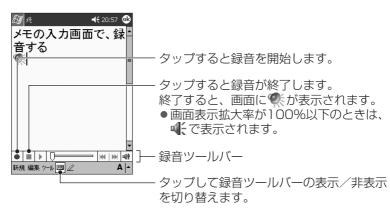
1 「スタート」の「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

…お知らせ

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
- 「メモ」の入力画面以外で録音した音声はのアイコンで表示されます。

メモファイル上に録音する

1 「メモ」の入力画面で をタップする

「メモ」の入力画面では、同じファイルにメモと録音ができます。

2 ⓞⓚをタップする

音声が保存され、「メモ」の表示画面に戻ります。
ファイル名は、音声しかファイル上になくても、「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

お知らせ

- 「メモ」の一覧画面で録音すると、ファイルのアイコンは で、ファイル名は「録音 1」、「録音 2」…と自動的に付けられます。
- マイクの位置は「各部のなまえと機能」(参照 2ページ) をご覧ください。録音するときは、マイクを音源に近づけてください。

ファイル名を変更／ファイルを削除する

1 「スタート」の「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 変更または削除したいファイル名をタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

- ファイル名の変更は、メニューから「名前の変更／移動」をタップします。
- 削除するときは、メニューから削除をタップします。

それぞれ画面に従って操作してください。

第5章

アプリケーションプログラム

ビジネスからエンターテイメントまでのアプリケーションプログラムを用意しています。

第5章

1. Microsoft Pocket Word

Pocket Word を使って、文字のタイプ入力や手書き入力、描画、録音などを、一つのファイルで保存できます。また ActiveSync を使って本体の Pocket Word ファイルをパソコンの Word で開いたり、パソコンの Word ファイルやテキストファイルを本体の Pocket Word で開くことができます。

お知らせ

- ActiveSync を使ってデータを送受信するときは、ActiveSyncの設定が必要です。ActiveSyncについては、(参照 41ページ) をご覧ください。
- 本章では、Pocket Word の基本操作を説明します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

文書を作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップする

「Pocket Word」文書ファイルの一覧画面が表示されます。

- 文書ファイルが1つもないときは、新規の文書の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。

2 コマンドバーの「新規」をタップする

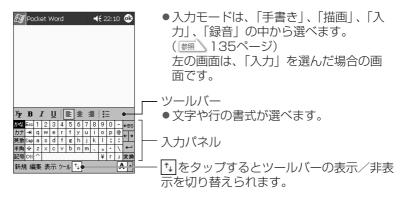
文書の入力画面が表示されます。

3 文書を入力する

●入力モードは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の中から選べます。
（参照 135ページ）
左の画面は、「入力」を選んだ場合の画面です。

ツールバー
●文字や行の書式が選べます。

入力パネル

をタップするとツールバーの表示／非表示を切り替えられます。

4 保存する場合は、画面下の「ツール」→「文書に名前を付けて保存」をタップする

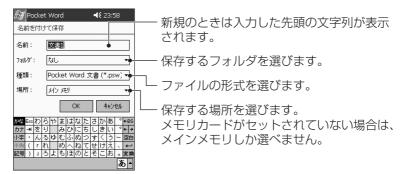
「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する

新規のときは入力した先頭の文字列が表示されます。

保存するフォルダを選びます。

ファイルの形式を選びます。

保存する場所を選びます。
メモリカードがセットされていない場合は、メインメモリしか選べません。

6 「OK」をタップする

作成した文書が保存され、文書の入力画面に戻ります。

お知らせ

- 操作４、操作５をしないで、「OK」をタップすると、開いたファイルと同じフォルダにPocket Word形式で保存されます。
- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Word形式（.psw）で保存したファイルは、パソコン上のWordのバージョンによっては読み込めない場合があります。

● 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

… Pocket Word形式（.psw）、リッチテキスト形式（.rtf）、Word97/98J/2000/2002 形式（.doc）、Word6.0/95 形式（.doc）

…. テキスト形式（.txt）

… Word97/98J/2000/2002テンプレート形式（.dot）、Word6.0/95 テンプレート形式（.dot）

● メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「」がついた状態で表示されます。

文書を変更する

1 文書ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする

タップすると、ファイルの表示順を並び替えることができます。

● ファイルをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、ファイルのコピーや削除など様々な操作が行えます。

2 開いたファイルの内容を変更する

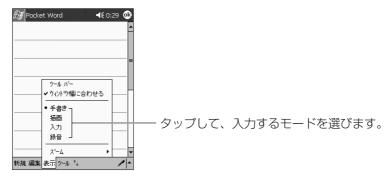
3 ok をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。

● ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」→「文書に名前を付けて保存」を選びます。

文書の作成・編集の入力モードについて

Pocket Wordでは､｢手書き｣､｢描画｣､｢入力｣､｢録音｣の４つのモードを使って入力できます。個別にファイルが作成できるだけではなく、１つのファイル内で４つのモードを切り替えて入力できます。

● 文書の入力画面で、｢表示｣ メニューをタップして、入力モードを選びます。

手書きモードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」→「手書き」をタップする

手書き入力モード画面が表示されます。

2 手書き入力をする

をタップすると、ツールバーが表示されます。

- ツールバーの「ペンボタン」をタップすると、「ペンボタン」の枠あり／枠なしを切り替えられます。

  （枠あり）･･･スタイラスを使って画面に手書きができます。罫線３列以上にまたがって手書きしたものは、図形として認識されます。図形は描画モードで編集できます（参照 137 ページ）。

  （枠なし）･･･ 手書きした文字をドラッグして選択（反転表示）できます。選択した文字は、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更できます。

- スペースボタンを使う

  画面上をドラッグして、手書きした文字と文字の間にスペースを入れたり削除したりできます。スペースボタンをタップして枠ありにしてから、スペースを入れたい場所をタップし、そのままドラッグします。ドラッグ方向に矢印が表示されますので、その長さでスペースの量を確認してください。削除するときはスペースを入れたときと逆向きの方向にドラッグします。

- 蛍光ペンボタンを使う

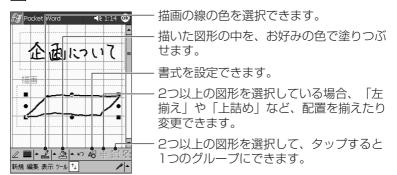
  手書きした文字をドラッグして選択し、蛍光ペンボタンをタップすると、蛍光ペンでマークしたようになります。

描画モードを使う

1 **文書の入力画面で、「表示」→「描画」をタップする**

描画モード画面に切り替わり、画面上にガイドとしてグリッド線が表示されます。

2 **図形を描く**

をタップすると、ツールバーが表示されます。

ツールバーのペンボタンをタップすると、描画モードを切り替えられます。

（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に図形が描けます。

（枠なし）･･･ タップして図形を選択できます。ドラッグすると複数の図形をまとめて選択できます。選択した図形は、「■」の部分をドラッグして変形させせることができます。「●」の部分をドラッグすると回転します。選択した状態で図形の内側をドラッグすると、移動します。

入力モードを使う

1　文書の入力画面で、「表示」→「入力」をタップする

入力画面が表示されます。

2　入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「入力」モードを選択する

「入力」モードには、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」、「手書き検索」、「手書き入力」の４つがあります。

3　文字を入力する

お知らせ

- 文字入力の詳細については、「文字入力のしかた」（参照 29ページ）をご覧ください。

録音モードを使う

1　文書の入力画面で、「表示」→「録音」をタップする

録音入力画面が表示されます。

2 録音する

- 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
- 「■」をタップすると録音を終了し、画面に 🔊 が表示されます。
- 🔊 をタップすると、録音した音声が再生されます。

文書ファイルを電子メールで送信する

1 文書ファイル一覧画面で、送信したい文書ファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、メッセージを入力する

4 「送信」をタップする

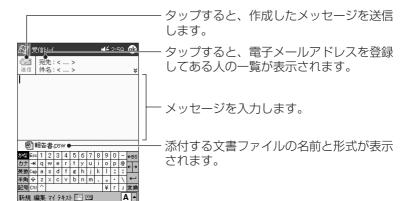
「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

- 詳しくは「メールを送受信する」（参照 100ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。（参照 88ページ）
- ファイルを開いている状態で「ツール」→「電子メールで送信」を選んでも送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、ファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Word形式（.psw）からWord形式（.doc）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Word形式（.doc）からPocket Word形式（.psw）に自動的に変換されます。
  - ・ページ設定、脚注、罫線などの情報は削除されます。
  - ・文書に保存されているマクロやハイパーリンクは削除されます。
  - ・文書に挿入してあるExcelワークシートのオブジェクトは図に変換されます。

お知らせ

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 42ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとのファイル交換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Wordのヘルプをご覧ください。

2. Microsoft Pocket Excel

Pocket Excelでは簡単な計算から関数計算まで様々な計算や表組機能が使えます。Pocket Excelのファイルはブックと呼ばれ、パソコンのExcelとファイルの交換もできます。

ファイルを作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Excel」をタップする

「Pocket Excel」のファイルの一覧画面が表示されます。

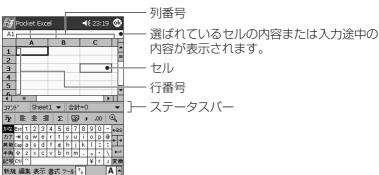
- ファイル（ブック）が一つもないときは、新規の入力画面が表示されます。操作３へお進みください。

2 「新規」をタップする

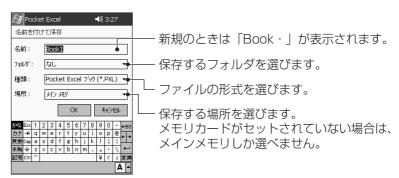
入力画面が表示されます。

3 入力する

入力したいセルを選び、入力します。

- 入力モードを切り替えるには入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、入力パネルを選択します。

4　保存する場合は、「ツール」→「ブックに名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5　ファイル名やファイル形式などを入力する

6　「OK」をタップする

作成したファイルが保存され、入力画面に戻ります。

お知らせ

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Excelブック形式（.pxl）で保存したファイルは、パソコン上のExcelのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

  …Pocket Excel形式(.pxl)、Excel 97/2000/2002形式(.xls)、Excel5.0/95形式(.xls)

  …Pocket Excelテンプレート形式(.pxt)、Excel97/2000/2002テンプレート形式(.xlt)、Excel5.0/95テンプレート形式(.xlt)
- メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「　」がついた状態で表示されます。

ファイルを変更する

1 ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする

選んだファイルが開きます。

2 内容を変更する

3 画面右上の ok をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。

- ファイル名やファイル形式を変更したいときは「ツール」→「ブックに名前を付けて保存」をタップして変更します。

テンプレートを利用する

新規ファイルを作成するとき、「家計簿」や「出張メモ」などのあらかじめ用意されているテンプレートを利用すると便利です。

1 ファイルの一覧画面で「ツール」→「オプション」をタップする

「オプション」の画面が表示されます。

2 「新しいブックのテンプレート」入力欄の▼をタップし、表示された一覧から使いたいテンプレートをタップする

3 ok をタップする

ファイルの一覧画面に戻ります。

- これ以降「新規」をタップするたびに、選択されたテンプレートが開きます。
- テンプレートを使用して保存しても、元のテンプレートには上書きされません。

画面表示を設定する

入力画面で、入力しやすいように「ツールバー」や「スクロールバー」、「行列番号」の画面表示 / 非表示などを設定できます。

1 入力画面で「表示」メニューをタップする

「表示」のメニューが開きます。画面表示 / 非表示したい項目をタップしてください。

タップするごとに表示/非表示が切り替わります。
- ✓チェックが付いている項目が表示されます。

タップすると、ツールバーやスクロールバーなどがすべて消えて広く使えます。全画面表示を終了するにはもう1度タップするか「元に戻す」をタップします。

パスワードを設定する

他人に見られたくないファイルに、パスワードを設定できます。

1 入力画面で「編集」→「パスワード」をタップする

「パスワードの設定／変更」の画面が表示されます。
- 現在、作成・編集中のファイルに「パスワード」を設定します。
- パスワードが設定されているファイルは、パスワードを入力しないと、ファイルを開けません。

2 パスワードを設定し、ok をタップする

お願い
- **パスワードを忘れると、ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**
- 設定したパスワードを解除するときは、入力画面で「編集」→「パスワード」を選び、設定されているパスワードを削除します。

ファイルを電子メールで送信する

1 **ファイルの一覧画面で、送信したいファイルをタップアンドホールドする**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする**

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 **宛先、件名、メッセージを入力する**

4 **「送信」をタップする**

「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

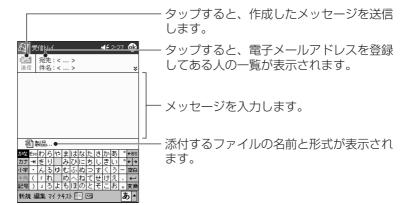
● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 100ページ）をご覧ください。

第5章
2・Microsoft Pocket Excel

お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です（参照 88ページ）。
- ファイルを開いている状態で「ツール」→「電子メールで送信」を選んでも、送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、ファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Excel形式（.pxl）からExcel形式（.xls）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Excel形式（.xls）からPocket Excel形式（.pxl）に自動的に変換されます。
  - ・罫線はすべて１本線の罫線に変換されます。
  - ・グラフ、マクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートは空白のワークシートに置き換えられます。
  - ・Pocket Excelがサポートしていない式は、値に変換されます。
  - ・次の情報は削除されます。
    アドイン、描画オブジェクト、OLEオブジェクト、グラフ、シート（ブック）の保護、オートフィルタ、ハイパーリンク

お知らせ

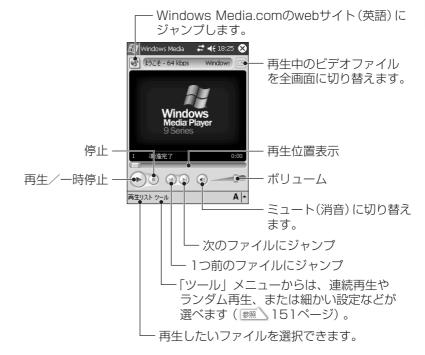
- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 42ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとのファイル変換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Excelのヘルプをご覧ください。
- パスワードが設定されているファイルは、交換の途中でパスワードの確認（入力）が必要になります。

3. Windows Media Player

Windows Media Player では、MP3 形式または「Windows Media Audio (WMA)」形式のオーディオファイル（曲）や「Windows Media Video（WMV）」形式のビデオファイル（動画）を再生できます。(再生できるファイルは、拡張子が asf、wma、wmv および mp3 のファイルです。)
オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンでWindows Media Player 7以降を使ってパソコンから本体メモリやメモリカードに転送します。本体メモリへの転送先は My Documents フォルダです。

Windows Media Player を起動する

1 「スタート」の「Windows Media」をタップする

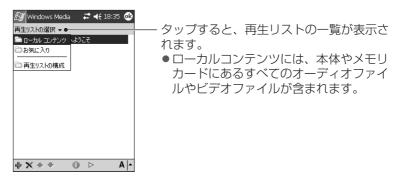
Windows Media Playerのプレーヤー画面が表示されます。

お知らせ

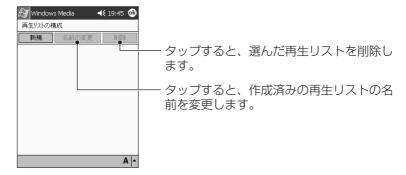
- 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）には対応していません。
- 再生中は、本体のオートパワーオフ機能は働きません。

再生リストを作成する

再生したいファイルを準備します。方法は、パソコンのWindows Media Playerを使って音楽CDの楽曲をWMA形式に変換してパソコンに取り込み、本体とパソコンを接続してパソコンから本体に転送するなどがあります。詳しくは、パソコンのWindows Media Playerのヘルプを参照してください。
再生したいファイルを集めて再生リストを作ると、再生リスト内のファイルを続けて再生できます。

1 プレーヤー画面で「再生リスト」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

2 再生リストの一覧から「再生リストの構成」をタップする

再生リストの作成画面が表示されます。

3 「新規」をタップし、作成する再生リストの名前を入力して、「OK」をタップする

再生できるファイルの一覧画面が表示されます。

4 再生リストに入れるファイルのボックスをチェックして、ok をタップする

再生リストの画面が表示されます。

⬆ ⬇ ：選んだファイルを上または下に移動します。通常、上から順に再生します。
✕ ：選んだファイルをリストから削除します。
✚ ：ファイルを追加します。

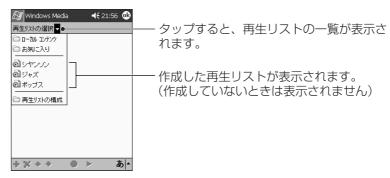
- 再生したいファイルをタップして、▶をタップすると、そのファイルから再生が始まります。

5 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

再生リストを使って再生する

1 プレーヤー画面で「再生リスト」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

2 再生したい再生リストをタップする

3 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

4 プレーヤー画面で▶をタップする

選んだ再生リスト内の一番上のファイルから再生が始まります。

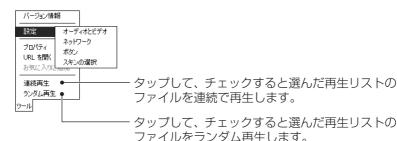
- このあと他のプログラムに切り替えても再生は継続されます。再生を継続したくない場合は、「ツール」→「設定」から「オーディオとビデオ」をタップし、「別のプログラムを使用中」を「再生を一時停止する」にします。

お知らせ

- パソコンで表示できる動画データでも、Windows Media Player for Pocket PC ではそのまま再生できないデータがあります。この場合は、Microsoft 社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/）からデータ変換を行うプログラム、Windows Mediaエンコーダをパソコンにダウンロードして、パソコン上でデータを変換してください（2003年６月現在）。
Windows Mediaエンコーダについては、Microsoft社にお問い合わせください。

「ツール」メニューについて

プレーヤー画面から「ツール」メニューが選べます。

- 詳しくはヘルプをご覧ください。

ネットワーク上の動画ファイルを再生するには

ネットワーク上の動画ファイルを再生するには、以下の設定が必要です。

1 「ツール」→「設定」から「ネットワーク」をタップする

ネットワークの設定画面が表示されます。

2 「インターネットの接続速度」を選択し、「プロトコル」、「UDPポート」を設定する

●詳細についてはオンラインヘルプを参照してください。

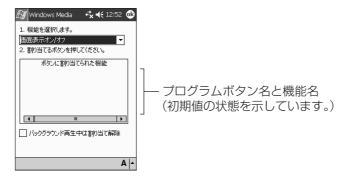
3 ok をタップする

設定が保存され、プレーヤー画面に戻ります。

再生中の画面表示を ON ／ OFF する

バッテリの使用時間を長くするため、再生中は画面表示をOFFにしてください。

1 「ツール」→「設定」から「ボタン」をタップする

2 機能の選択で「画面表示オン / オフ」を選ぶ

3 その機能を割り当てたいプログラムボタンを押す

画面に割り当てたプログラムボタン名と機能名が表示されます。

4 (ok)をタップする

以上の設定操作をした後、割り当てたプログラムボタンを押すごとに画面表示がON/OFFします。

お知らせ

- この設定画面では、「画面表示オン／オフ」だけでなく、操作２で別の機能を選んで、ボタンに割り当てることができます。

4. MSN Messenger

「MSN Messenger」はインスタントメッセージングプログラムで、次のような使いかたができます。

- 誰がオンラインで接続されているか見る
- 登録したメンバでインスタントメッセージを送受信する
- メンバのグループとインスタントメッセージで会話する

MSN Messengerを使用するには、インターネットに接続しておく必要があります。詳細については、「インターネットの接続」（参照 86ページ）をご覧ください。さらに、Microsoft Passportのアカウントか、Microsoft Exchangeの電子メールアカウントが必要です。HotmailやMSNアカウントがある場合、Passportはすでに取得されています。

お知らせ

- Microsoft Passportのアカウントはhttp://www.passport.com/でサインアップします。Hotmailの無料電子メールアドレスは、http://www.hotmail.com/で取得できます(2003年6月現在)。

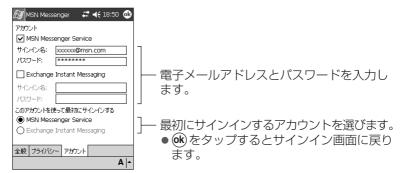
MSN Messengerをセットアップする

接続する前に、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力する必要があります。

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

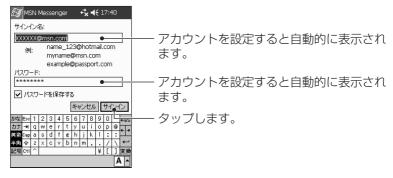
「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 「ツール」→「オプション」をタップする

3 「アカウント」タブをタップし、Passport または Exchange のアカウント情報を入力し、ok をタップする

MSN Messenger を使う

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 サインイン画面をタップして、「サインイン」をタップする

サインインが終わると、MSN Messengerのメイン画面が表示されます。

メンバの操作

MSN Messengerのメイン画面には、すべてのメンバが「オンライン」と「オフライン」の分類項目に分かれて、一目でわかるように表示されます。タップアンドホールドしてポップアップメニューから、チャット、電子メールメッセージの送信、メンバの禁止、メンバの削除などを行うことができます。

メンバをタップするとチャットを開始します。タップアンドホールドするとポップアップメニューが表示されます。

お知らせ

- パソコンですでにMSN Messengerを使用している場合、メンバを追加しなくても、画面にメンバが表示されます。
- メンバを禁止した場合、禁止された側の一覧には、禁止した側の表示がオフラインとして残ります。メンバの禁止を解除するには、そのメンバをタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「禁止の解除」をタップします。

メンバの追加

1 「ツール」→「メンバの追加」をタップする

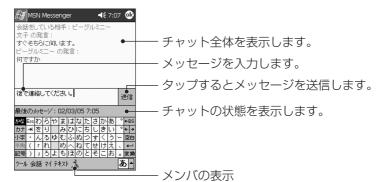
2 追加メンバのサインイン名を入力し、「次へ」をタップする

3 画面の指示に従って設定する

メンバとチャットする

1 **MSN Messenger のメイン画面で、チャットをしたいメンバの名前をタップする**

チャット画面が開きます。

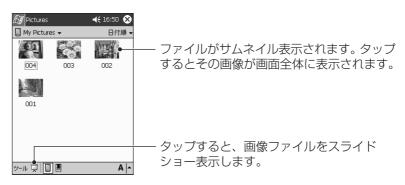
2 **テキストボックスにメッセージを入力し、「送信」をタップする**

お知らせ

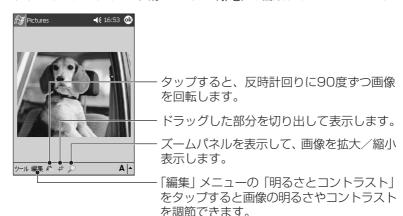
- コマンドバーの「マイテキスト」をタップすると、よく使うメッセージを選んで入力できます。
- チャットを閉じずにメイン画面に戻るには、「メンバの表示」をタップします。チャット画面に戻るには、「会話」をタップし、チャットをしていた相手を選択します。
- 進行中のチャットに招待するには、「ツール」→「招待」をタップし、招待したいメンバをタップします。

5. Pictures

本体メモリやメモリカードに保存されている画像ファイル（.jpg）を一覧表示できます。

画像を表示する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pictures」をタップする

画像を編集する

サムネイルをタップすると、画像ファイル（.jpg）を編集することができます。

画像をメールで送る

画像（.jpg）を電子メールの添付ファイルとして送信することができます。

1 Pictures 画面で、送信したい画像をタップする

2 「ツール」→「電子メールで送信」をタップする

受信トレイが起動して、選択した画像ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。
「新規にメッセージを作成し、送信する」の操作4以降（参照 100〜102ページ）を行ってください。

画像を背景画像に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定することができます。

1 Pictures 画面で、壁紙に設定したい画像をタップする

2 「ツール」→「[Today]の壁紙に設定する」をタップする

背景にする際の透過レベルなども設定することができます。

6. 電　卓

９桁の計算ができます。

計算する

1 「スタート」の「プログラム」から「電卓」をタップする

「電卓」の画面が表示されます。

2 画面をタップして、計算する

- 計算を実行するには、「=」をタップします。
- 入力パネルを使って数値を入力しても計算できます。
- 計算をクリアするには、「C」をタップします。
- 表示されている数値をクリアするには、「ＣＥ」をタップします。
- 複数桁の最後の桁をクリアするには、入力ボックスの右側の矢印をタップします。

数値を保存する

数値を保存するには、入力ボックスの左側のボックスをタップして、「M」を表示させます。

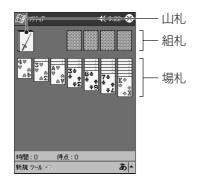
- 表示されている数値をメモリ内の数値に加算するには、「M＋」をタップします。
- メモリ内の数値を表示するには、「ＭＲ」をタップします。
- メモリをクリアするには、「ＭＣ」をタップします。

7. ゲーム

ソリティアで遊ぶ

カードゲームです。組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。

1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「ソリティア」をタップする

「ソリティア」画面が表示されます。

2 山札をタップして、山札をめくる

- 画面をタップすると時間がスタートします。

3 場札にカードをドラッグして移動し、数字が小さくなるように、しかも赤と黒のカードを交互に積み重ねる

- 例：赤４のカードの上に黒３のカードを重ねられます。

4 組札にエースを移動し、数字が大きくなるようにキングまで、同種類のカードを積み重ねる

- 組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
- カードを移動して、場札の一番上のカードが裏になったら、場札をタップしてめくります。
- キングは、場札の空の列に移動できます。
- 場札の重ねたカードは、まとめて移動できます。
- 移動したカードを元に戻すには、 をタップします。
- 移動するカードが無くなったら、また山札をめくります。
- 「新規」をタップすると、カードを配り直します。

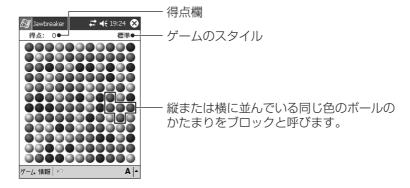
ゲームの遊びかたを変更する

「ツール」→「オプション」をタップします。
- カード（山札）のめくりかたを「1 枚ずつ」か「3 枚ずつ」に変更できます。
- 得点の付けかたを「点数方式」か「金額方式」または「なし」に変更できます。得点の付けかたは、オンラインヘルプをご覧ください。
- 時間制や得点表示ありのチェックをはずすと、時間や得点の表示は消えます。
- カードの模様を選べます。

Jawbreaker で遊ぶ

ボールを消すゲームです。1 度にたくさん消すと高得点になります。

1 「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「Jawbreaker」をタップする

「Jawbreaker」画面が表示されます。新しくゲームを始めるには、「ゲーム」→「新しいゲーム」をタップします。

2 消したいボールのブロックのどれかをタップする

消すブロックが線で囲われ、得られる点数が表示されます。
- ブロック内のボールの数が多いほど点数が高くなります。

3 もう 1 度消すブロックをタップする

ブロック内のボールが消え、得点が得点欄に加算されます。
- 直前のプレイを取り消すには、コマンドバーの ↶ をタップします。

ゲームの遊びかたを変更する

「ゲーム」→「オプション」をタップします。
- ゲームのスタイルは「標準」、「継続」、「シフト」、「メガシフト」から選べます。
- ボールの色は「カラー」または「グレースケール」が選べます。

8. 付属のコンパニオン CD について

付属のコンパニオン CD には、Microsoft® ActiveSync® 3.7 と Microsoft® Outlook® 2002が収められています。本体と接続するパソコンにインストールしてお使いください。
インストールする際は、パソコンの必要条件（参照 40ページ）を確認してください。
インストール方法については、クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧ください。

お知らせ

- コンパニオンCDの自動起動画面には、Flash形式の画像が使われています。このためお使いの Internet Explorer に、Macromedia Flash がプラグインされていないと、Macromedia Flashをインストールするための接続確認画面が表示されます。
  Flash 形式の画像を表示したい場合は、インターネットに接続できる環境にして、再接続を選択し、Macromedia Flashをインストールしてください。
  Flash 形式の画像が非表示で構わない場合は、オフラインを選択してください。なおオフラインを選択後、メインメニュー表示まで数秒かかります。
  この間は、パソコンの操作を行わないでください。

第6章
困ったときは

第6章

1. Q&A

電源

1. 電源スイッチを押しても電源が入らない？

- バッテリスイッチが「停止」になっています。「供給」側に移動してください。
- バッテリの充電量がなくなっています。充電を行ってください。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。
  リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 183 ページ）。

2. 急に電源が切れた？

- バッテリの充電量を使いきりました。充電を行ってください。
- オートパワーオフ（自動サスペンド）が働きました。電源が切れるまでの時間を変えるときは、「スタート」→「設定」→「システム」タブから、「パワーマネージメント」→「バッテリ」タブをタップし、設定してください。バッテリ電源使用時とACアダプタ使用時で、それぞれ設定できます。

3. 充電しても使用時間が著しく短いのですが？

- 持ち運び時にプログラムボタンなどが押されて、電源が入ってしまった可能性があります。持ち運び時には、プログラムボタンなどが押されないように気をつけてください。
  プログラムボタンを押しても、電源が入らないように設定することもできます（参照 60 ページ）。
- バッテリの寿命などが考えられます。新しいバッテリへの交換をお買い上げの販売店または東芝 PC 集中修理センタにご依頼ください。

4. 使用しながら充電できますか？

ACアダプタを接続していれば、使用しながら充電できます。

5. 予備用にバッテリを購入できますか？

バッテリは、お客様自身で交換できないようになっていますので、 販売しておりません。

画面、スクリーンライト

1. 画面（ディスプレイ）の一部に、非点灯・常時点灯などの点があるのですが？

ディスプレイの一部に非点灯・常時点灯などの点が存在することがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。
ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていて、非点灯・常時点灯などの点を少量に抑えるように管理していますが、現在の技術水準でも完全になくすことは困難ですので、ご了承ください。

2. 画面が暗い？

- スクリーンライトが OFF になっています。電源スイッチを長く押して ON にしてください。

3. 画面が暗くなった？

- 設定した未使用時間を超えたため、スクリーンライトが消灯しました。再び使用すると、スクリーンライトは ON になります。

4. スクリーンライトのON／OFFを任意に切り替えることはできますか？

スクリーンライトは、電源スイッチを長押しすることでON／OFF を手軽に切り替えることができます。

5. 画面を見やすい明るさにするには？

「スタート」→「設定」→「システム」タブから「スクリーンライト」→「設定」タブをタップし、明るさのレベル「4段階」の中から、見やすい明るさを選択してください。

6. 画面をタップしても正しく応答しない？

- タッチスクリーンの設定が正しく調整されていません。「スタート」→「設定」→「システム」タブから「画面」をタップし、タッチスクリーンの補正を行ってください。
- 静電気などの影響で、タッチスクリーンの誤作動が起きている可能性があります。本体をリセットしてください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 183 ページ）。

7. 画面をタップした時の反応が極端に遅い。動作がおかしい？

- メモリ容量が不足していると思われます。使用していないプログラムの終了処理を行って、メモリ容量を確保してください。
  プログラムの終了は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」の「実行中のプログラム」タブで行います。または「ホーム」の実行中タブでも行うことができます。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 183ページ）。

8. 画面がロックして動かないのですが？

何らかの異常が発生した可能性があります。本体をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 183ページ）。

9. 画面（液晶パネル）のサイズはどのくらいですか？

液晶パネルのサイズは、3.5型です。

メモリカード

1. 本体メモリを拡張することはできますか？

本体メモリを拡張することはできませんが、SDメモリカードを、データ保存用のメモリとしてご利用できます。

2. メモリカードを増設したのですが、本体メモリ容量が変わらないのですが？

メモリカードを増設しても、本体メモリ容量は変化しません。メモリカードは、プログラムのインストール先、データ保存先としてご利用ください。

3. SDメモリカードに、アプリケーションをインストールすることはできますか？

アプリケーションによっては、メモリカードに保存して、そこから起動することもできます。これはアプリケーションに依存しますので、ソフトメーカにご確認ください。

4. メモリカードの残り容量はどのように調べたらよいですか？

メモリカードの使用状況は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」をタップし、「メモリカード」タブで調べることができます。

5. メモリカードを使用中に本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードに本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

6. メモリカードを使用してファイルのコピーをしているとき、間違って本体の電源を切ってしまったのですが？

コピーをやり直してください。電源を入れた後、メモリカードのフォルダが表示されなくなったときは、カードをいったん本体から取り出し、もう1度取り付けてみてください。

操作全般

1. プログラムが起動しない？

バッテリの充電量が不足しています。充電を行ってください。

2. 操作の反応が遅い？

- メモリ容量が不足しています。使っていないアプリケーションを終了させて、メモリ容量を確保してください。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください（参照 183ページ）。

3. 起動時にパスワードを設定することはできますか？

パスワードは、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「パスワード」で設定することができます。4桁の数字、または7桁以上の英数字のパスワードで設定することができます（参照 55ページ）。

4. スタートメニューに表示される項目を編集することはできますか？

スタートメニューに表示される項目は、「スタート」→「設定」→「個人用」タブをタップし、「メニュー」の「スタート メニュー」タブで編集することができます。

5.本製品(GENIO e350)以外のGENIO eシリーズや他社のPocket PC(以下他のPocket PCと呼ぶ)でバックアップを取ったデータを、この本体にリストアすることはできますか？

できません。リストア操作を実行しても、正常にデータが戻りません(当社では、このような操作を行った場合に発生するいかなる問題にも責任は負いませんので、あらかじめご了承ください)。
他のPocket PCのデータを、この本体に取り込む場合には、まずActive Syncを使用して他のPocket PCとパソコンで同期を取ってください(同期を取る項目は、事前にパソコンのActiveSync側で設定しておいてください)。 次に、この本体とパソコンで同期を取り、必要なデータをこの本体に取り込んでください。

6. 本体の時間を設定しても、すぐにずれてしまうのですが？

初期値では、パソコンのActiveSyncにおいて「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」項目にチェックが付いています。 このため本体とパソコンの同期を取ると、パソコンの日時に自動的に変更されます。この機能を無効にするか、パソコンの時間を正しく設定してください。
【無効にするには】
パソコンのActiveSyncの「ツール」→「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」のチェックをはずします。

7. メモリカードなどを使用しているときに、本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードなどを使用中で、本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

文字入力

1. 手書き文字入力をする際の変換を速くできませんか？

次の操作で速くすることができます。

1 「スタート」→「設定」を選択する
2 「入力」アイコンをタップする
3 「入力方法」の「▼」をタップし、「手書き入力」を選択する
4 「オプション」ボタンをタップする
5 「タイムアウト値」を「1」に設定する
● 初期値では「2」に設定されています。
6 「OK」をタップする
7 もう1度「OK」をタップする
8 本体をリセットする

Today

1. 作成した覚えのない未送信メッセージが数通登録されているのですが？

予定表で新規に予定を作成する時に会議出席者を選択しておくと、会議出席者のメールアドレスにメールが送信されます。 また、会議の予定を変更/削除した場合に「この会議の変更内容を出席者に連絡しますか？」というメッセージが表示されますが、この問いに対して「はい」と回答すると、「更新」/「キャンセル」のメールが会議出席者に送信されます。 このメールが受信トレイの「送信トレイ」に保存されています。
本体の初期値では、受信トレイの「表示」→「ActiveSync」を選択して「送信トレイ」を開くと、このとき作成され、未送信のメールを確認することができます。

同期(ActiveSync)

1. クレードルを使ってパソコンに接続しても、ActiveSyncが動作しないのですが？

パソコンにUSBドライバがインストールされていない可能性があります。USBドライバをインストールしてください。

2. パソコンにUSBドライバをインストールしていますが、パソコンとUSB接続できないのですが？

次の確認をしてください。

1. 本体の「スタート」→「ActiveSync」をタップする
2. 「ツール」→「オプション」をタップする
3. 「PC」タブの「オプション」をタップする
4. 「次の接続速度でPCとの同期を有効にする」がチェックされていて、「USB」が選択されていることを確認する

3. ActiveSyncのセットアップはできましたが、同期が取れないのですが？

次の操作、確認をしてください。

- 「パソコンとの接続」(参照 14ページ) をご覧いただき、パソコンに本体が正しく接続されているかどうかを確認してください。
- パソコンのActiveSyncを起動し、「ファイル」→「接続の設定」をクリックしてください。
  「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」、あるいは「USB接続をこのPCで有効にする」にチェックが付いていることを確認してください。

- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください（参照 179 ページ）。また、1 度本体をリセットしてから操作してください。
- パソコンを再起動してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続する場合は、電源の付いたUSBハブを利用してください。電源なしのUSBハブをご使用の場合は、パソコンに直接クレードルを接続してください。
- USB ポートが複数存在するパソコンをご使用の場合は、別のUSBポートに接続してみてください。

4. ActiveSyncで接続すると「同期完了」と表示されずに「要確認」と表示されてしまうのですが？

次の操作をしてください。

- パソコンの ActiveSync を起動して、「ツール」→「オプション」をクリックし、「規則」タブをクリックしてください。「競合の解決」の選択項目を変更してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接クレードルを接続してください。
- パソコンの ActiveSync を起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、もう1度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

5. 同期がうまく取れなくなってしまったのですが？

次の操作をしてください。

- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了してから操作してください（参照 179 ページ）。
- 同期中にケーブルを抜いたり、本体をクレードルからはずしたり、また、接続／切断を何度も繰り返すと、パソコンと接続できなくなる場合があります。このような現象が発生したときは、本体をリセットし、パソコンを再起動して、もう 1 度接続をしてください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接クレードルを接続してください。
- パソコンの ActiveSync を起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、もう1度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

6. Outlook97/98のデータは同期できますか？

ActiveSync3.7では、Outlook98と同期できます。Outlook97はサポート対象外です。

7. ActiveSync3.7でサポートしているOutlookは何ですか？

ActiveSync3.7では、Outlook98/2000/2002をサポートしています。

8. Outlook Expressと同期を取ることはできますか？

Outlook Expressとは、同期を取ることができません。

9. 赤外線を利用して同期が取れないのですが？

パソコンの出荷時状態では、赤外線の設定が有効になっていないものがあります。まず、パソコンの赤外線が利用できるように、次の操作で設定してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

1. 本体を接続しない状態で、パソコンのActiveSyncを起動する
2. 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする
3. 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける
4. 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート(IR)」を選択する
   - 「赤外線ポート(IR)」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。もう1度パソコンの赤外線設定をご確認ください。
5. 「OK」ボタンをクリックする
6. 本体とパソコンの赤外線ポートを向き合わせたら、本体より「スタート」→「ActiveSync」をタップする
7. 「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

10. Macintoshと同期を取ることはできますか？

本体は、Macintoshと同期を取ることはできません。

11. 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？

以下の操作をしてください。

1. パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2. 「同期の設定」タブで同期する情報の種類を変更し、「OK」ボタンをクリックする
3. ActiveSyncの同期ボタンをクリックする

12. 仕事の同期時、終了設定がパソコンに設定されると同時に、その仕事の項目が削除されてしまうのですが？

パソコンのActiveSyncの仕事の同期設定で、「すべての仕事を同期する」に設定してください。

1. パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2. 「同期の設定」タブで「仕事」を選択し、「設定」ボタンをクリックする
3. 「すべての仕事を同期する」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする
4. 「OK」ボタンをクリックする

インターネット接続、メール

1. ホームページは見ることができるのですが、メールの送受信ができません？

Pocket Internet Explorerでホームページが閲覧できているということは、インターネット接続は正しく設定されています。
この場合には、メール接続設定が正しくない可能性があります。プロバイダから提供されている、下記のメール接続設定のデータをもう1度ご確認ください(参照 91ページ)

- ユーザー名 / ユーザー ID
- パスワード
- POP3/IMAP4 サーバー名
- SMTP サーバー名

2. メールを受信しても、メールが途中で切れているのですが？

初期値では、2KBを取得する設定になっています。受信トレイを起動したら、次の操作でメールの取得設定を変更してください。

1. 「ツール」→「オプション」をタップする
2. 「アカウント」タブをタップする
3. 表示されているアカウント一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする
   「 電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。
4. (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
5. 「オプション(1/3)」画面が表示されたら、(3/3)画面になるまで「次へ」をタップする
   - 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択している場合には、何KBまでメールを取得するか数字を指定してください。初期値では、2Kに設定されています。
   - メールの全文を取得する場合には、「▼」をタップして、「メッセージの全文を取得する」を選択してください。
6. 「完了」をタップする

7「OK」をタップする

3. 添付ファイルは取得できますか？

受信トレイを起動したら、次の操作でメールの取得設定を変更してください。

1「ツール」→「オプション」をタップする
2「アカウント」タブをタップする
3 表示されているアカウント一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする

「電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。

4 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
5「オプション(1/3)」画面が表示されたら、(3/3)画面になるまで「次へ」をタップし、「メッセージヘッダーのみ取得する」または「メッセージの全文を取得する」のいずれかを選択する
- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合には、何KBまで受け取るか容量を設定します。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合には、すべての添付ファイルを受信します。

6「完了」をタップする
7「OK」をタップする

4. 受信したメールをメモリカードに保存することはできますか？

メールをメモリカードに保存することはできません。しかし、添付ファイルをメモリカードに保存することは可能です。「ツール」→「オプション」→「保存場所」タブをタップしたら、「メモリカードに添付ファイルを保存する」にチェックを付けてください。

Pocket Internet Explorer

1. パソコン上で見たホームページを、本体でオフラインで閲覧するにはどうすればよいですか？

次の方法で閲覧することができます。

1 パソコンでInternet Explorerを起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」、「OK」で、モバイルのお気に入りを作成する
- この操作は最初の1回だけ必要です。

2 Internet Explorerで本体に転送したいページを表示させる
3「お気に入り」→「お気に入りに追加」で、「モバイルのお気に入り」のフォルダを選択する
4「オフラインで使用する」をチェックして、「OK」を選択する
5「お気に入り」→「モバイルのお気に入り」に、本体に転送したいページが追加されているのを確認する

6 本体とパソコンをActiveSyncで接続する

Pocket Internet ExplorerとInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」が同期されます。

7 本体でPocket Internet Explorerを起動して、「お気に入り」のアイコンをタップする。同期したページが追加されているので、そのページ名をタップする

パソコンで取り込んだページが本体に表示されます。

2. Pocket Internet Explorerで表示している画像データを保存することはできますか？

Pocket Internet Explorerで表示している画像を、ファイルとして保存することはできません。

3. フレームのあるWebページに対応していますか？

対応しています。

4. SSLに対応していますか。対応しているとすれば、また何ビットまで対応していますか？

SSL（128 ビット）に対応しています。

予定表

1. 予定の通知にアラームを鳴らすことはできますか？

予定の通知にアラームを鳴らすには、次の操作でアラームを有効に設定してください。

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「個人用」タブで「音と通知」アイコンをタップする
3 「音量」タブで「プログラム」と、「通知」にチェックを付ける
4 「通知」タブをタップする
5 「音を鳴らす場面」で「アラーム」を選択する
6 「音を鳴らす」にチェックを付ける
7 「OK」をタップする

2. 予定表の表示で、希望する日へジャンプするにはどうすればよいですか？

左端の日付をタップすると、小さな月のカレンダーが表示され、希望する日へジャンプすることができます。

3. 祝日を登録するにはどうすればよいですか？

本体にはあらかじめ祝日が登録されていませんが、パソコンのOutlookと同期を取ることにより、祝日データを取り込むことができます。次の操作をしてください。

1 パソコン側でOutlookを起動する
2 「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表オプション」ボタンをクリックする
3 「祝日の追加」ボタンをクリックする
4 「予定表に祝日を追加」画面が表示されたら、「日本」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックする
5 「OK」ボタンをクリックする
6 「予定表のオプション」画面、「オプション」画面を「OK」ボタンをクリックして閉じる
7 パソコンのActiveSyncより「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表」にチェックを付ける
8 「予定表」を選択した状態で、「設定」ボタンをクリックする
9 「すべての予定を同期する」を選択する、または「次の中から選択した分類項目に含まれる予定だけを同期する」を選択して分類項目の「祝日」にチェックを付ける
10 「OK」ボタンをクリックし、「予定表の同期設定」画面、「オプション」画面を閉じる
11 同期を取る
祝日データが本体に登録されます。

4. 予定を作成した際に送信されるメールを、ActiveSync以外から送信するにはどうするのですか？

予定表から送信するメールは、ActiveSync以外の通常のメールボックスからも送信を行うことができます。
予定表を起動したら、「ツール」→「オプション」をタップしてください。「会議出席依頼の送信方法」に表示されている「ActiveSync」の右側「▼」をタップして、会議通知を送付するためのメールボックスを選択してください。
- このとき表示されるメールボックス一覧は、「受信トレイ」で既に作成してあるメールボックスです。

5. 本体に登録しておいた古い予定が消えてしまったのですが？

ActiveSyncで同期を取ると、本体に登録されている予定表のデータは、2週間以前のものが削除されてしまいます。 これはメモリを有効に使用するために、古いデータを本体に残さないようにするためです。（パソコン側の予定表はデータが残ります）
以前の予定表データを本体に残しておきたい場合には、パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」より「予定表」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。
初期値では「2週間前」の予定から同期を取るようになっていますので、この数値を変更するか、「すべての予定を同期する」にチェックを付けてください。ただし、たくさんのデータを本体に残すとその分メモリを使用します。必要な期間のデータを同期するようにしてください。

Windows Media Player

1. Windows Media Player で再生できるファイルにはどのようなものがありますか？

インターネットなどで配信されているMP3形式、またはWindowsMedia形式（音声はWMA、動画はWMV、ASF）に対応しています。QuickTime形式には対応していません。

2. 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化（CPRM）に対応していますか？

対応しておりません。

3. 音楽CDからWMA形式のファイルを作成しましたが、本体で再生をすると止まってしまうのですが？

次の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2 パソコンのWindows Media Playerの「ファイル」→「録音／転送」から「ポータブルデバイスに転送」を選択する
3 「転送する項目」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4 「デバイス上の項目」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5 「転送」ボタンをクリックする
   - ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
   - また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
   - うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「音楽の録音」タブの「録音設定」項目で「保護された音楽を録音する」のチェックをはずす
3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
   - 通常のコピー操作です。

4. 本体でWMA形式のファイルを再生しようとしたら、「著作権…」のメッセージが表示され、再生できないのですが？

次の操作をしてください。
お使いのパソコンのWindows Media Playerのバージョンによっては、操作などの仕様が異なる場合があります。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
パソコンのWindows Media Playerの「ファイル」→「録音／転送」から「ポータブルデバイスに転送」を選択する
2 「転送する項目」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
3 「デバイス上の項目」として、本体(あるいは本体に挿入されているメモリカード)を選択する
4 「転送」ボタンをクリックする
- ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
- また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
- うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「音楽の録音」タブの「録音設定」項目で「保護された音楽を録音する」のチェックをはずす
3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
- 通常のコピー操作です。

アプリケーション

1. アプリケーションを終了させるには、どうすればよいですか？

次のどちらかの方法で、終了操作をしてください。

【メモリ設定より終了】

1 「スタート」→「設定」をタップする
2 「システム」タブの「メモリ」をタップする
3 「実行中のプログラム」タブをタップする
- 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。
4 終了したいアプリケーションを選択し、「終了」ボタンをタップする。 または「すべて終了」ボタンをタップする

【ホームより終了】

1 ホーム画面を表示する

2「実行中」タブをタップする

● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。

3 終了したいアプリケーションをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「終了」をタップする。 または、画面上の何もない場所でタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「すべて終了」をタップする

2. 購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできますか？

購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできません。

3. アプリケーションなどのショートカットを作成することはできますか？

ファイルエクスプローラで作成することができます。ファイルエクスプローラで該当ファイルをコピーし、コピー先のフォルダで、ショートカットの貼り付けを行います。

4. メモリカード中の任意のソフトを「ホーム」に登録するにはどうすればよいですか？

次の操作で登録することができます。メモリカードを本体にセットしてください。

1 メインメモリの「¥Windows」中にそのソフトの実行ファイルのショートカットを作成する

2 ホーム画面を表示する

3 登録したいタブの画面上でタップアンドホールドして表示されるポップアップメニューから「追加」を選択する

4「アプリケーションファイル」の下の「参照」ボタンをタップする

5「参照」画面で「フォルダ」が「Windows」になっていることを確認し、「種類」を「すべてのファイル」に切り替える

6 表示されたファイル名リストの中で、1.で作成したショートカットをタップする
自動的に「アプリケーション追加」画面 に戻ります。

7「アプリケーション名」にわかりやすい名前を入力し、「OK」ボタンをタップする

● メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

5.EXEファイルをプログラムに登録するにはどうすればよいですか？

ファイルエクスプローラでそのEXEファイルをコピーし、メインメモリの「¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム」フォルダで、ショートカットの貼り付けをすると、「スタート」の「プログラム」に登録することができます。

海外での使用

1. 海外で利用できますか？

本製品の仕様は、日本国内向けとなっています。海外での使用は考慮しておりません。

2.海外で修理できますか？

本製品は、日本国内向け商品となっています。海外での修理はできません。

その他

1.スタイラスをなくしてしまったのですが、どこで買えますか？

本製品をお買い上げの販売店で、別売りのスタイラスをご購入ください。

2.本体は、防水、防滴、防塵機能はついていますか？

本体には防水、防滴、防塵機能はありません。

2. 警告メッセージ

メッセージ	原因／対処
メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。	バッテリが消耗しています。すみやかにバッテリを充電してください（参照 8ページ）。 満充電をしてもこのメッセージがすぐに出るようでしたらバッテリの寿命が考えられます。新しいバッテリの交換をお買い上げの販売店または東芝PC集中修理センタへご依頼ください。 お客様が交換することはできません。

3. リセットと初期化の方法

リセットする

リセットはパソコンの「再起動」に相当します。ボタンやタップが働かなくなったなどの異常が発生した場合にリセットを行ってください。

お願い

- リセットした場合、保存されていない作業中のデータは消去されます。すでに保存したデータは、消去されません。

1　電源を入れた状態で、リセットスイッチをスタイラスで押して離す

「Today」画面が表示されます。

お知らせ

- リセットを行っても、正常な状態に戻らない場合は、初期化を行ってください。

初期化する

初期化すると、ご購入時の状態に戻ります。リセットを行っても正常に戻らない場合に行ってください。

お願い

- 初期化した場合、本体内メモリに保存したすべてのデータが消去されます。最初から内蔵されているプログラムなどは消去されません。
- 初期化する前に、本体内メモリに保存したデータは、控えをとっておいてください。
- 初期化する前にメモリカードは抜いてください。メモリカード内の記憶データが消去される可能性があります。

1 **電源スイッチを指で押しながら、リセットスイッチをスタイラスで押す**

2 **画面が表示されたら、リセットスイッチからスタイラスを離す**

- 初期化が終了すると、「Pocket PC」の画面が表示されます。「初期セットアップ」（参照 11ページ）したときと同じように画面に従ってセットアップを行ってください。

4. アフターサービスについて

ご使用中に異常が発生したときは、「Q&A」や「警告メッセージ」をお読みになり、もう1度お調べください。
それでも異常が解決できないときは、「東芝PC集中修理センタ」に修理をご依頼ください。

□本製品の修理サービスは

東芝PC集中修理センタ

0120-86-9192（ハロー クイックニ）

※受付時間／ 9:00 ～ 17:30（祝祭日・当社特別休日を除く）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様は、TEL 043-278-8122で受け付けております。

修理形態

■無料修理（保証修理）

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。
ご注意：消耗品（バッテリ、タッチスクリーン、スタイラス等）の交換は有料修理です。

■有料修理

保証書に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

部品について

■部品の交換

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

■保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から６年６ヶ月です。

□本製品についての技術的なご質問、お問い合わせは

「東芝 PC ダイヤル」

TEL 0570-00-3100（ナビダイヤル：全国共通電話番号）

受付時間／ 9:00 ～ 19:00（年中無休）

携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、TEL 043-298-8780で受け付けております。

5. 消耗品について

本製品に使用している下記の部品は、機器のご利用と共に消耗します。

- バッテリ
- タッチスクリーン
- スタイラス

これらの部品の消耗による交換は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

ローマ字入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ	いぇ	よ
YA		YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ		うぇ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
NN N の次に子音、続けて母音 (例) SANKOU→さんこう				

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA XA	LI XI LYI	LU XU	LE XE LYE	LO XO
っ				
LTU XTU 子音を重ねて母音 (例) KAKKO→かっこ				
ゃ		ゅ		ょ
LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
ゎ				
LWA XWA				

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
CHA CYA TYA	 CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA JYA ZYA	 JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

くぁ				くぉ
KWA				QWO QO
くゃ	くぃ	くゅ	くぇ	くょ
QYA	QYI	QYU	QYE	QYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
FA	FI FYI		FE FYE	FO
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO

索引

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

付録

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ヨ

リ

レ

ロ

主な仕様

本製品の仕様は、日本国内向けになっています。
海外でのご使用は考慮しておりません。

品　名	GENIO e350
外形寸法	縦125×横80 × 厚さ12.4mm（突起部を除く）
周辺環境条件	動作時　温度0～40℃、湿度30～80%RH ・充電可能温度　約5～35℃（動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。）
バッテリ 　種類	 リチウムイオン充電池
プロセッサ	Intel® XScale™ テクノロジ PXA255アプリケーションプロセッサ 動作クロック300MHz
メモリ容量	RAM：64MB、ROM：32MB
ディスプレイ	3.5型カラーTFT 240×320ピクセル、65,536色
SDカードスロット	SDメモリカードまたはSDIOカードが挿入可 注：SDメモリカードのセキュリティ機能は利用できません。 SDメモリカードのセキュリティ機能に対応した機器で暗号化されたデータは使用できません。
赤外線ポート	IrDA Ver.1.2準拠、データ転送速度　最大115kbps
外部機器接続端子	ヘッドホン出力端子 クレードル接続ポート ACアダプタジャック
ACアダプタ	入力電源条件　AC100V、50／60Hz、24VA 定格出力　DC5V、2A

お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書に乱丁、落丁があればお取り替えいたします。

2003年7月　第1版発行

発行　株式会社**東芝**デジタルメディアネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

MPW1225A